

47+C-15

149
733

學士 永井 瑛 編

長野縣參事會裁決類纂

東京 大日本圖書株式會社

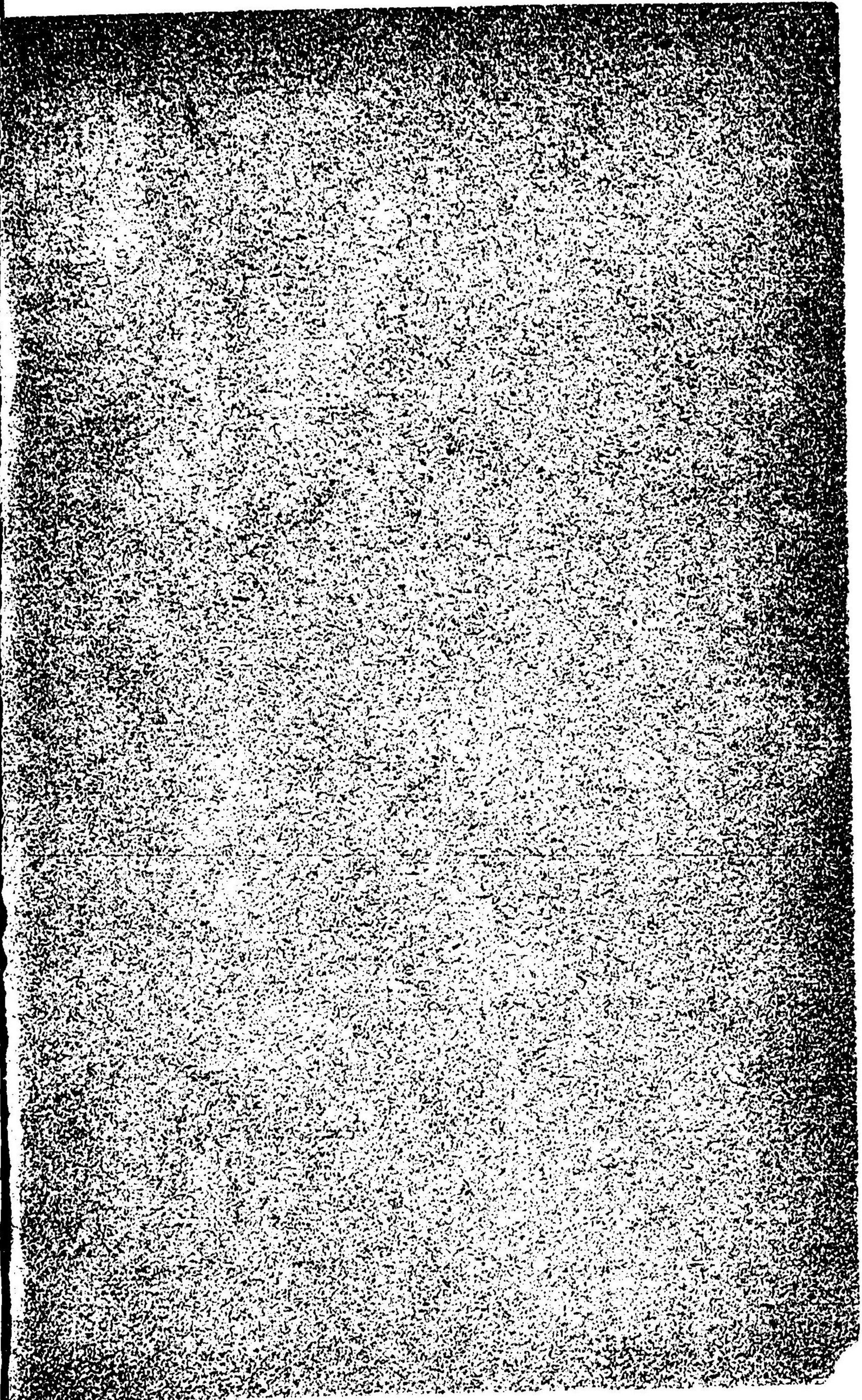
田

田
田
田

田
田
田



長野縣知事正四位勳三等淺田義則書



明治丙申春

牧野元



序

長野縣施地方制度日尙淺而行政爭議之頻繁遠超乎他府縣其可憂歟否伴行政發達不得止之勢也頃日參事官永井君編其判例題曰長野縣參事會裁決類纂余請而讀之晰理截然繁簡適宜矣蓋事皆雖係長野縣而得其要一焉爾詩曰他山之石以可攻玉斯書弘益于世豈唯他山之石哉

明治丙申如月題於長野縣參事會議室

牧野元

序

我長野縣人頗ル權義ヲ重ニス明治二十四年縣制施行以來縣參事會ノ裁決ヲ求ムル者甚タ多シ就中昨二十八年ノ如キ時偶町村會議員改選ノ期ニ際シタルヲ以テ訴願事件最モ頻繁ナリキ參事官永井法學士同年中ニ係ル裁決ヲ編纂シ之ヲ公ニセントス其意蓋シ縣參事會ノ所見ヲ明示シ坐シテ將來ノ紛議ヲ絶ツニ在リテ能ク彼我ノ煩ヲ避ケシムル一舉兩得ノ策ト云フヘシ余亦曾テ會員ノ末席ニ列シタル

長野縣警部長文學士戸田恒太郎君序文

者本書ノ如キ必ラス世ノ權義ヲ重ニスル者ノ左右ニ欠クヘカラサルモノタルヲ知ル其成ルヲ喜ヒ茲ニ一言スト云爾

明治二十九年二月

文學士 戸田恒太郎

08
3311
55-01

余客歲一月長野縣ニ就職スルヤ尋テ縣參事會員ヲ命セラレ
親シク其職務ニ從事スルコト茲ニ一年其間縣參事會ニ於テ
收受シタル訴願事件ハ其數實ニ三十有二件ノ多キニ上リ從
テ之レカ裁決ヲ爲スニ際シ自ラ審査起草ノ任ニ當リタルモ
ノ亦尠ナシトセス抑我長野縣ハ夙ニ他ニ先ツテ府縣制ヲ實
施シ爾來殆ント五年ニ垂ントスル星霜ヲ經過シ業ニ已ニ地
方自治ノ制度ハ總テ之ヲ實驗シタルモノニシテ先ツ適當ノ
結果ヲ得タルモノト謂フ可シ然リ而シテ縣參事會カ下シタ
ル訴願ノ裁決ヲ算スルニ其數大約七十有餘件(明治二十七年
末ニ至ル迄)ニ及ヒ從テ其裁決ニ服セス進シテ行政裁判所又

ハ内務大臣ノ判決若クハ裁決ヲ受ケタルモノ鮮少ナラス爲
 ヲニ法律ノ解釋上至要ノ好判例ヲ世間ニ與ヘタルモノ頗フ
 ル多キニ居ルハ人皆知ル所ナリ是ヲ以テ余ハ訴願ノ裁決ニ
 就テハ最深ク注意シ裁決成ルノ後ト雖モ尙ホ之レカ考究ヲ
 怠ラサリキ偶々公務ノ餘暇試ニ客歲中ニ係ル裁決ヲ蒐録シ
 テ其成績ヲ徵スルニ當リ粹シテ世ニ公ニスルノ無用ノ業ニ
 アラサルヲ感シ其事件ノ性質ニ依リ之ヲ類別纂輯シ加フル
 ニ之レニ關スル上訴ノ判決若クハ裁決ヲ以テシ又搜覽ノ便
 ニ資スル爲メ參照トシテ關係法律勅令等ノ條文ヲ附セリ以
 テ少サカ地方行政ニ關スル研究ノ參考トナル所アラバ實ニ

望外ノ幸ナリトス

附言 府縣制實施以來明治二十七年ニ至ル間ノ裁決ハ追

テ本編ニ續テ編纂セシコトヲ期ス

編者識

明治二十九年一月

目次

頁數

第一 郡會議員選舉ノ効力ニ關スル件

- (一) 下伊那郡大島村米山郡會議員選舉取消ニ關スル件……………一
- 附 行政裁判所判決……………五

第二 町村境界ニ關スル件

- (一) 東筑摩郡上川手村降地籍組替不當申請取消ニ關スル件……………一三
- (二) 諏訪郡中洲村笠村境界確定ニ關スル件……………一五
- 附 行政裁判所判決……………二四

第三 町村會議員選舉投票ノ効力ニ關スル件

- (一) 南佐久郡大日向村會議員選舉投票ノ効力ニ關スル件……………二九
- 附 行政裁判所判決……………三五

第四 公民權ノ有無ニ關スル件

(一) 南安壘郡南穂高公民資格有無ニ關スル件……………四三

第五 町村會議員選舉人名簿ニ關スル件

(一) 更級郡村上村久村會議員選舉人名簿訂正ニ關スル件……………四六

(二) 東筑摩郡朝日村村會議員選舉人名簿訂正ニ關スル件……………五〇

(三) 東筑摩郡朝日村村會議員選舉人名簿訂正ニ關スル件……………五四

(四) 東筑摩郡朝日村村會議員選舉人名簿訂正ニ關スル件……………五九

(五) 東筑摩郡朝日村北村村會議員選舉人名簿訂正ニ關スル件……………六三

(六) 東筑摩郡朝日村鹽村會議員選舉人名簿訂正ニ關スル件……………六七

第六 町村會議員選舉ノ効力ニ關スル件

(一) 南佐久郡内山村村會議員選舉取消ニ關スル件……………七一

(二) 南安壘郡高家村三村會議員選舉取消ニ關スル件……………七六

附 行政裁判所判決……………八三

(三) 下内郡水内村月村會議員選舉取消處分ニ關スル件……………九八

(四) 南安壘郡温村温村村會議員選舉取消ニ關スル件……………一〇〇

(五) 南安壘郡温村小村會議員選舉ノ効力ニ關スル件……………一〇三

(六) 小縣郡丸子村鈴村會議員選舉取消ニ關スル件……………一〇七

(七) 北佐久郡三井村中澤村會議員選舉取消ニ關スル件……………一一〇

第七 町村會並ニ區會議決ニ關スル件

(一) 小縣郡鹽川村區會議決取消ニ關スル件……………一二六

第八 水利組合費ニ關スル件

(一) 諏訪郡湖東村保科仙右水利組合費賦課更正ニ關スル件……………一二八

附 内務大臣裁決……………一二四

(二) 諏訪郡北山村矢崎水利組合費賦課ニ關スル件……………一二七

附 內務大臣裁決

○附 錄

第一 長野縣參事會裁決一覽表 三

第二 長野縣參事會收受訴願郡別一覽表 四

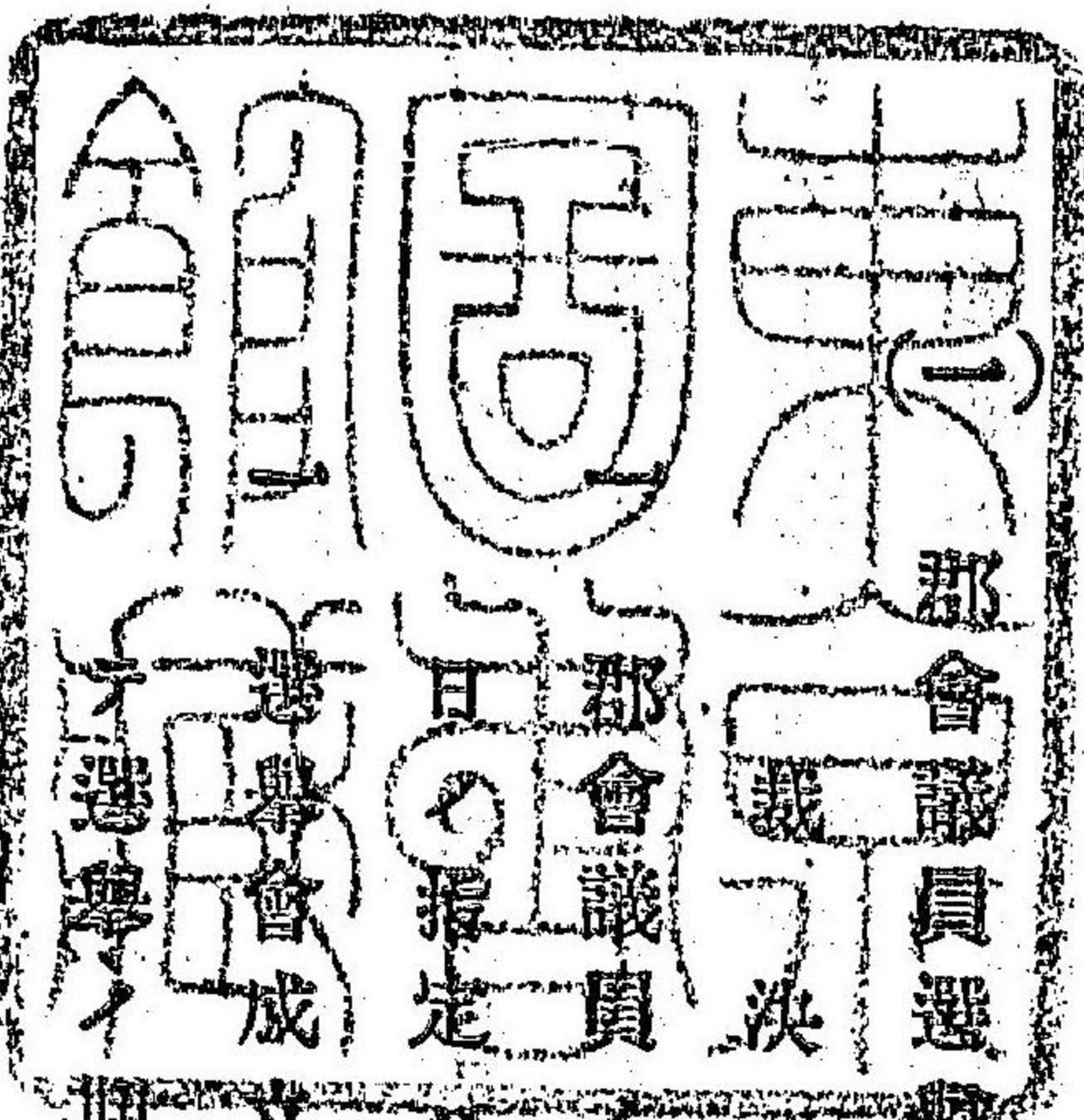
第三 長野縣參事會裁決上訴一覽表 五

長野縣參事會裁決類纂

法學士 永井環 編纂

特17
105

第一 郡會議員選舉ノ効力ニ關スル件



要旨

郡會議員選舉ノ取消ニ關スル件 明治二十八年二月十三日裁決

郡會議員ノ選舉ハ郡長ノ告示ニ依リ之ヲ行フモノナレハ選舉期日ノ指定ハ郡長之ヲ告示スヘキモノトス

選舉會成立セズ再招集ヲ爲ス場合ニ於テハ更ニ郡長ノ告示ヲ以テ選舉ノ期日ヲ定ムヘキモノトス

(參照)

郡會議員ノ選舉ハ郡長ノ告示ニ依リ之ヲ行フヘシ其告示ハ遲ク
トモ選舉ノ日ヨリ七日前ニ之ヲ發スヘシ 郡制第十六條

裁 決 書

下伊那郡大島村二百十六番地
平民農村會議員

訴願者 米山峯次郎

外 八 名

右訴願ノ要領ハ明治廿七年四月廿六日執行シタル下伊那郡山吹村大島村兩村
會々同シテ行フヘキ郡會議員ノ選舉ヲ違法ナリトシ其取消ヲ請求スルモノニ
シテ下伊那郡參事會ノ裁決ニ服セス本縣參事會ニ提起シタルモノナリ
訴願者申立ノ理由トスル所ハ第一選舉ニ關スル公告ハ選舉區域内各村ノ揭
示場ニ揭示スヘキカ當然ノ手續ナルニ之レカ手續ニ依リ公告ヲササリシ
トノコト第二郡制ニ明文ナキ選舉手續ハ各町村長ノ打合若クハ申合ヲ必要
トス故ニ數町村會々同シテ行フ選舉ノ招集ハ町村制第四十二條ニ依リ各村
會議長ニ於テ招集スルコトニ決定シ初回ハ其手續ニ依リ之ヲ執行シ再回ニ

ハ其手續ニ依ラサルモノニシテ即チ打合若クハ申合ノ手續ニ背戾シ慣例ヲ
欠キタル缺點アル選舉ナリトノコト第三數町村會々同シテ行フ選舉ノ會長
ハ郡長若クハ郡長ノ指定スル町村長之ヲ行フモ選舉人タル町村會議員ヲ招
集スルハ町村制第四十二條ニ依リ各町村會議長ニ於テ招集スルカ當然ノ手
續ナリ假リニ選舉會長之ヲ招集スルコトヲ得ルトスルモ初回ノ招集カ變例
ナレハ次回ノ招集ハ再招集ニアラストノコト第四郡制第十六條ニ依レハ郡
會議員ノ選舉ハ郡長ノ告示ニ依リ之ヲ行フヘキモノナルニ初回ハ町村制第
四十二條ニ依リ各村會議長ニ於テ招集シ翌日ノ招集ハ選舉會長直チニ招集
シタルハ町村制第四十三條ノ再招集トハ認メ難シ果シテ初招集トセハ出席
議員定數ニ充タズ不成立ノ會同村會ヲ開キ選舉ヲ完結シタルハ不當ノ手續
ナリト云フニ在リ

依テ本縣參事會ハ郡制第二十五條ニ依リ之ヲ受理シ審査ヲ遂クルコト左ノ如

下伊那郡長ハ明治三十七年四月六日付告示第十六號ヲ以テ郡會議員半數改選ノ爲メ同月廿五日選舉會ヲ開クヘキコトヲ告示シタルニ依リ大島村山吹村兩村會々同シテ期日ニ選舉會ヲ開設シタルニ出席議員定數ニ充タサル爲メ選舉會成立セザリシ然ルニ選舉會長山吹村長林虎三ハ急施ヲ要スルモノトシ全月廿六日午前八時選舉會ヲ開クヘキ旨ノ再招集狀ヲ發シ更ニ新期日タル全月廿六日ニ於テ選舉ヲ執行シ議員定數ニ充タサルモ再招集ノ故ヲ以テ選舉ヲ結了シタルモノナリ抑郡制第十六條ニ依レハ郡會議員ノ選舉ハ郡長ノ告示ニ依リ之ヲ行フヘシ其告示ハ遅クトモ選舉ノ日ヨリ七日前ニ之ヲ發スヘシトアリテ選舉期日ノ指定ハ郡長之ヲ告示スヘキモノニシテ選舉會長タル村長ノ定ムヘキモノニアラス故ニ山吹村大島村兩村會々同シテ行フヘキ選舉ノ期日ハ四月廿五日ニシテ同日其選舉會ノ成立セザリシ以上ハ更ニ郡長ノ告示ニ依リ再

選舉期日ヲ定ムヘキモノナルニ山吹村長林虎三ハ急施ヲ旨トシ再招集狀ヲ發シ郡長ノ告示ニ依ラス自己カ定メタル新期日ニ於テ選舉會ヲ開設シ選舉ヲ執行シタルハ法律ニ違背セル無効ノ選舉ナリトス以上説明ノ如ク該選舉ヲ無効ト認定シタル以上ハ訴願者カ申立ツル第一乃至第三ノ理由ニ對シテハ必要ナキヲ以テ之ヲ説明セス
右ノ理由ナルヲ以テ裁決スル左ノ如シ
明治廿七年四月廿六日山吹村大島村兩村會々同シテ行ヒタル郡會議員ノ選舉ハ違法ナルヲ以テ之ヲ取消ス

○行政裁判所判決

明治廿八年第二十三號
同年五月三十一日宣告

判決要旨

一 郡會議員ノ選舉ハ郡長ノ告示シタル一定ノ期日ニ於テ之ヲ行フ

ハキモノトス
一 事故ノ爲メ選舉會ヲ開ク能ハス再招集ヲ爲ス場合ニ於テハ更ニ
郡長ノ告示ヲ以テ選舉新期日ノ指定ヲ要ス

裁判宣告書

原告長野縣下伊那郡山吹村平民
山吹村會議員

越田綱索
外十二名

訴訟代理人
東京市日本橋區本町一丁目十一番地
辯護士

兩角彦六

被告長野縣參事會

長野縣知事 淺田德則

訴訟代理人

長野縣參事官 永井環

右原告越田綱索外十二人ヨリ被告長野縣參事會長野縣知事淺田德則ニ對スル
不法裁決取消ノ訴審理ヲ遂クル處

原告陳述ノ要旨ハ明治廿七年四月六日下伊那郡告示第十六號ヲ以テ同月廿
五日郡會議員半數改選ノ爲メ選舉會ヲ開クヘキ旨告示セラレタルニ付同郡
大島村山吹村兩村會々同選舉會長ハ右指定ノ日ニ於テ選舉會ヲ開キシモ出
席議員定數ニ充タサル爲メ選舉ヲ行フニ由ナカリキ是ニ於テ其選舉會不成
立ノ事實及急施ヲ要スルヲ以テ翌廿六日再召集ヲ爲スヘキコトヲ下伊那郡
長ニ報告セシモ別ニ何等ノ指令アラサルニ依リ同日再召集ヲ爲シテ該選舉

ヲ執行結了セリ然ルニ大島村會議員米山峰次郎外八名ハ右選舉ハ郡制第十
 六條ニ違背スルモノト爲シ明治廿七年四月二十八日下伊那郡參事會ニ選舉
 取消ノ訴願ヲ提出シ同參事會ハ同年九月十七日該選舉會ハ取消スヘキ限リ
 ニアラスト裁決セルヨリ更ニ長野縣參事會へ訴願セシニ同參事會ハ同二十
 八年二月十三日下伊那郡參事會ノ與ヘタル裁決ヲ否認シ山吹村大島村兩村
 會々同シテ行ヒタル郡會議員ノ選舉ハ郡制第十六條ニ違背セルヲ以テ之ヲ
 取消スヘシトノ裁決ヲ爲シタリ然レトモ此裁決ハ違法ニシテ原告ノ權利ノ
 消長ニ關スルヲ以テ郡制第二十五條ニ依リ出訴セル次第ナリ抑郡制第十六
 條ハ郡長ニ於テ郡會議員ノ選舉ヲ行フコトヲ告示スヘキノ規定タルニ止マ
 リ他ニ何等ノ意味ナキハ法文ノ位置ヨリ見ルモ其次條以下ヲ參照スルモ明
 白ナル所ナリ故ニ召集開會等ノ事項ハ町村制第四十二條第四十三條ニ準據
 スヘキモノニシテ其急施ヲ要スル場合ノ處置ハ職務執行上當然選舉會長ノ

權内ニ存スルハ法律ノ規定上當然ノ法理ナリ本件ノ場合ニ於テ選舉會長カ
 更ニ新期日ヲ定メテ該選舉ヲ執行セルハ當然ノ處置ニシテ毫モ郡制第十六
 條ニ違背セルモノニアラス假リニ一步ヲ讓リテ長野縣參事會ノ裁決ノ如ク
 郡長ノ指示シタル期日ニアラサレハ選舉スヘキモノニアラストスルモ尙其
 裁決ノ不當タルヲ免レス何トナレハ大島山吹兩村會々同選舉會長ハ告示ニ
 依リ選舉會ヲ開キタルモ出席議員定數ニ充タサル爲メ不成立トナリシナリ
 蓋シ不成立ナル語ハ其事ノ未タ曾テ存セサルト同一義ナレハ再召集ヲナシ
 タル場合ニ於テハ其前後ノ會同ハ同一ノ性質ナリ而シテ同一ノ選舉ナル以
 上ハ其召集ノ再回ナルニモセヨ結局唯一ノ選舉會ナレハ之ニ對シ兩度ノ告
 示ヲ要スルモノニアラサルコト明カナレハナリ且又下伊那郡内ニ在テハ郡
 制施行以來開會ノ當日故障等ノ爲メ選舉會ヲ開ク能ハサル場合ニ於テ選舉
 會長カ其職權ヲ以テ隨意ニ延期ヲ命シ更ニ選舉會ヲ完了スルハ郡内一般ノ

慣例ナリ是甲第三號證ニ據リ明白ナル事實ナリトス以上ノ理由ナルヲ以テ
明治二十八年二月十三日長野縣參事會カ與ヘタル裁決ヲ取消シ更ニ明治二
十七年四月二十六日大島村山吹村兩村會々同シテ行ヒタル選舉會ハ違法ノ
モノニアラスト判決アラントテ請フト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ郡制第十六條ニ依レハ郡會議員ノ選舉ヲ行フヘキコトヲ
告示スルハ郡長ノ職權ニ屬シ其告示ハ遅クトモ選舉ノ日ヨリ七日以前ニ發
スヘキノ規定ナレハ郡長カ選舉ヲ行フヘキコトヲ告示スルニ方リテハ又選
舉ノ期日ヲ指定シテ之ヲ發スヘキハ理ノ略易キ所ナリ而シテ一旦郡長ニ於
テ期日ヲ指定シテ選舉ヲ行フヘキコトヲ告示シタル以上ハ之カ爲メニ開會
スル町村會ヲ召集スルハ固ヨリ町村長ノ職務ニ屬スヘシト雖其召集開會ハ
告示ノ定ムル期日ニ於テスヘクシテ決シテ告示ノ範圍外ニ超脱シテ其期日
ヲ自由ニ改定スルヲ得ス既ニ選舉期日ノ指定ハ郡長ノ職權ニ屬シ選舉會長

タル町村長ノ權内ニ屬セサル以上ハ事故ノ爲メ選舉會不成立ナル場合ニ於
テモ選舉會長ハ更ニ新时期日ヲ定ムルヲ得ルノ權能ヲ生スヘキ理由アルコト
ナシ然ルニ原告ハ選舉會不成立ノ場合ニ於テ再召集ヲ爲スモ其前後ノ會同
ハ同一ノ性質ナレハ之ニ對シ再度ノ告示ヲ要スヘキモノニアラスト云フト
雖選舉期日ヲ指定スルノ職權ハ郡長ニ屬シ其指定了リテ始メテ召集開會ヲ
爲スヘキモノナルヲ以テ期日ノ指定ト召集開會ノ執行トハ職權上明確ナル
區別ノ存スルアレハ之ヲ混同スルヲ得ス此區別ノ存スル以上ハ選舉ノ異同
ヲ問ハズ選舉執行ノ期日ハ郡長ノ指定ヲ待タサルヘカラス加之郡會議員ノ
選舉ニ付町村會ヲ召集スルハ町村カ其固有ノ事務ニ付自己ノ發動ニ依リ之
ヲ召集スルモノト異リテ郡長ノ告示ニ依リ發動スルモノナレハ其召集ハ郡
長ノ告示ニヨリ限定セラレハモノナリ其他原告ハ甲第三號證ヲ理由トシ從
來一般ノ慣例上選舉ニ付テノ新时期日ハ指定ノ必要ナシト云フモ此事ハ法律

ノ解釋及適用上ニ影響ヲ及ホスヘキモノニアラサルヲ以テ敢テ反駁スルノ要ナシ依テ原告ノ請求ヲ排斥セラレタシト云フニ在リ

依テ證據ヲ閱シ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

原告ニ於テ郡制第十六條ハ郡長ニ於テ郡會議員ノ選舉ヲ行フコトヲ告示スヘキノ規定タルニ止マリ他ニ何等ノ意味ナシト云フト雖同條後段ニ其告示ハ遅クトモ選舉ノ日ヨリ七日前ニ之ヲ發スヘシトアレハ本條ハ郡會議員ノ選舉ハ郡長ノ告示シタル一定ノ期日ニ於テ之ヲ行フヘシトノ規定ナリト解釋セサルヘカラス又原告ハ假リニ一步ヲ讓リテ郡長ノ指定シタル期日ニアラサレハ選舉スヘキニアラストノ意義ニ解釋スルモ尙ホ本件ノ場合ハ前後同一ノ選舉會ナレハ兩度ノ告示ヲ要セスト云フト雖既ニ選舉ハ法律上郡長ノ告示シタル期日ニ於テ之ヲ行ハサルヘカラザルモノトスル以上ハ本件ノ場合ニ限り郡長ノ告示ヲ要セスト謂フヲ得ス又原告ハ事故ノ爲メ選舉會ヲ開ク能ハサル場合ニ

於テ選舉會長カ隨意ニ延期ヲ命シ以テ選舉會ヲ完了スルハ郡制施行以來郡内一般ノ慣例ナリト云フト雖假令此ノ如キ慣例アリトスルモ之レカ爲メ法律ノ解釋ヲ變更スルヲ得ス故ニ明治二十八年二月十三日ニ於テ長野縣參事會カ本件ノ選舉會ヲ違法ナリト裁決シタルハ適法ニシテ取消スヘキモノニアラス右ノ理由ニ依リ判決スルコト左ノ如シ
原告ノ請求相立タス

訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

第二 町村境界ニ關スル件

(一) 地籍組替不當申請取消ニ關スル件 明治二十八年三月二十六日裁決

裁 決 要 旨

一 村長ニ於テ縣知事ニ對シ爲シタル地籍組替ノ申請ニ關スル異議

ニ付テハ訴願ヲ許スノ規定ナシ

裁 決 書

東筑摩郡上川手村

訴願者 降幡 福次郎

外 三 名

右訴願ノ要領ハ東筑摩郡上川手村長平林廣十郎カ明治廿七年七月二十日長野
 縣知事ニ對シ同村字光路木ノ地籍組替ヲ申請シタルヲ違法ナリトシ之カ取消
 ヲ東筑摩郡參事會ニ訴願シタルニ同參事會カ訴願ヲ提出シ得ヘキモノニアラ
 ストシ之ヲ却下シタルヲ不當トスルニ在レモ上川手村長ハ右地籍組替ノ申請
 ヲナシタルコトナク訴願者所爭ノ事實現存セサルノミナラス本來訴願シ得ヘキ
 事件ニアラサルヲ以テ本訴願ハ之ヲ却下ス

(二) 村境界確定ニ關スル件 明治二十八年六月十五日裁決

裁 決 要 旨

一 明治廿二年長野縣令第十九號ニ依リ飛地編入ノ處分未タ完了ス
 ルニ至ラスシテ町村制施行セラレタル以上ハ同縣令ニ依據スル
 限ニアラス

一 同縣令第十九號ハ飛地ノ所在地分明ナラサルモノヲモ尙ホ其分
 屬區域ヲ定メテ編入スヘキコトヲ命シタルモノニアラス

(參照)

縣令第十八號ヲ以テ定メタル町村區域ニ在ル飛地ハ其所在地ニ
 編入ス 明治二十二年長
野縣令第十九號

從來ノ町村ヲ分合シ其區域別冊之通來ル四月一日ヨリ編制ス但
 舊町村名ハ大字トス 明治二十二年長
野縣令第十八號

裁 決 書

長野縣諏訪郡中洲村長

訴願人 笠原賢三郎

右中洲村ヨリ長野縣諏訪郡宮川村ニ係ル村境界確定ノ件訴願ノ要求ハ宮川村
字沖通飛地ハ訴願者中洲村ノ地籍ニ屬スヘキモノナルヲ以テ被訴願者宮川村
ハ之ヲ確認シ更ニ故障スヘカラストノ裁決ヲ求ムルニ在リテ郡參事會ノ裁決
ニ服セス本縣參事會ニ提起シタルモノナリ

訴願人カ申立ツル事實ノ要領ハ宮川村ハ從來中洲村内ニ本件係争ノ字沖通
飛地ヲ有セリ然ル所町村制實施ニ際シ長野縣知事ハ明治二十二年縣令第十
九號ヲ以テ町村区域内ニ在ル飛地ハ其所在地へ編入スヘキ旨ヲ布告セシニ
ヨリ宮川村ニ於テハ係争地字沖通ハ中洲村へ編入スヘキ飛地ナリトシテ明
治二十二年二月十二日ヲ以テ其取調書ヲ訴願村ニ回付セリ因テ其手續完結

方ニ付數回督促シタル末宮川村長ハ其筋へ伺中ニ付其指令後送入籍ノ手續
ヲ爲スヘキ旨誓約シタルヲ以テ訴願人ニ於テモ猶豫セシ處其後宮川村長ハ
内務省等へ請願中ナル旨ヲ以テ其結局ニ至ル迄送籍猶豫ヲ申來レリ茲ニ於
テ其落着ヲ待チツ、アリタルニ請願ハ却下セラル、所トナリタルヨリ宮川
村長ハ更ニ論争飛地ハ四賀村ト中洲村トノ間ニ介在セル飛地ナル旨ヲ以テ
分屬區域調査ノ上送籍スヘキモノトシ遂ニ明治二十三年十月二日分屬區域
ヲ定メタル上送籍ヲ爲シタリ茲ニ至リテ論争飛地ハ全ク訴願者中洲村ノ地
籍ニ編入セラレタルモノニシテ双方連署シテ郡役所へ届出ヲ爲サントスル
ニ際シ宮川村長ハ之ヲ拒ミタル爲メ只一ノ授受濟届出ノ手續カ殘存セルノ
ミ然ル處明治二十四年十一月六日論争飛地ハ何分ノ義相達候迄ハ宮川村ノ
地籍ト心得ヘキ旨郡役所ヨリ示達セラレ訴願人ハ實ニ意外ナル思ヒヲ爲シ
居タルニ更ニ明治二十六年十二月八日ニ至リ本飛地ハ縣令第十九號ノ處分

ヲ爲スヘキモノニアラス町村制第四條ニ依リ處分スヘキモノナリトノ決定
 ヲ爲シタル旨通牒セラレタリ是レ訴願人ノ服従スル能ハサル處ニシテ本訴
 願ヲ提起スルニ至リタル次第ナリト云フニ在リテ其理由トスル所ノ要旨ハ
 第一明治三十二年縣令第十九號ハ町村制ヲ實施スルニ當リ必要トシテ發布
 セラレタルモノニシテ町村制ト該十九號縣令トハ兩立相待テ共ニ必要ナル
 ヲ以テ町村制ノ爲メ縣令第十九號ハ消滅スルモノニアラス即チ今日ト雖モ
 甲村内ニアル乙村ノ飛地ハ當然該縣令ニ依リ甲村ノ地籍ニ編入セラルヘキ
 モノナレハ町村制ノ爲メ縣令第十九號カ其効力ヲ失ヒタリトスルハ不當タ
 ルヲ免レス况ンヤ本訴願ノ精神タルヤ新ニ縣令第十九號ニ因リ飛地タラシ
 メントスルニアラスシテ既ニ該縣令ニ依リ訴願者中洲村ノ地籍ニ編入セラ
 レタル其實ヲ確認セシムルニ過キサルニ於テヤ何トナレハ縣令第十九號
 ノ發布アルヤ論争飛地ハ之ニ依リ訴願村ニ編入スヘキモノナルトハ被訴願
 村ニ於テモ之ヲ確認シテ一旦取調書ヲ回付シタリ其後内務大臣等ニ請願シ
 タルモ却下セラレタル爲メ遂ニ明治廿三年十月ヲ以テ明カニ送籍ヲ爲シタ
 ルモノナレハ論争飛地ハ既ニ縣令第十九號ニ因リ處分セラレタルモノニシ
 テ之ヲ今日新ニ地籍ヲ變動スルモノト混同スヘカラス只其手續ノ濟マサル
 モノハ單ニ一儀式的授受届出ノ一事被訴願人ノ拒ム所トナリテ殘存セルニ
 過キサルナリ第二郡參事會ニ於テハ論争飛地ハ中洲村ト四賀村トノ中間ニ
 介在スルモノナレハ其幾分ヲ中洲四賀ノ兩村ニ分屬スヘキカ又ハ全部ヲ一
 方ニ編屬スヘキカ之カ處分ヲ決定セサルヘカラスト論スレトモ既ニ中洲ト
 四賀トノ兩村ニ分屬スヘキ區域ノ調査ヲ爲シタル末送籍ヲ爲シタルモノナ
 レハ分屬區域モ判明シテ訴願村ノ地籍ニ移リタルモノナリ第三行政上ノ處
 分ハ決シテ二途ニ出ツヘカラス既ニ被訴願人宮川村長ハ内務大臣ニ對シ請
 願迄爲シタル末訴願村へ編入セサルヘカラストモノナリトテ送籍ヲ爲シタ

ルモノナレハ更ニ復今日未タ處分セサルモノトナシ新ニ町村制第四條ニ因リ處分スヘキモノト爲スカ如キニ至リテハ實ニ人民ハ縣治上安堵爲シ得ヘカラサルナリ然ルニ郡參事會カ縣令第十九號ハ町村制ノ爲メニ効力ヲ失ヒタルモノトナシ本訴願ヲ排斥シタルハ不當ニ付該裁決ヲ取消シ更ニ訴願入ノ要求通り裁決アラソトテ請フト云フニ在リ

依テ本縣參事會ハ町村制第五條ニ依リ之ヲ受理シ審査スル左ノ如シ
 本件訴願ノ要點ハ宮川村宇沖通飛地ハ長野縣令第十九號ニ依リ宮川村ノ地籍ヲ離レ中洲村ノ地籍ニ移リタルモノナルヤ否ヤヲ究ムルニ在リ而シテ訴願人ハ町村制ト明治廿二年縣令第十九號トハ兩立相待テ共ニ必要ナルモノニシテ町村制ノ爲メ該縣令ハ消滅スルモノニアラス而シテ該縣令ノ發布アルヤ係爭飛地ハ被訴願人ニ於テ明治廿三年十月ヲ以テ明カニ送籍ヲ爲シタルモノナレハ既ニ該縣令ニ依リ處分セラレタルモノニシテ之ヲ今日新ニ地籍ヲ變動スル

モノト混同スヘカラス只手續ノ濟マサルハ單ニ一儀式的授受届出ノ一事殘存セルニ過キサレナリト云フト雖モ本件係爭ノ宇沖通總反別十町四反八畝四歩ノ地ハ宮川村ヨリ見ルルハ其地籍續キニアラサルヲ以テ飛地タルニハ相違ナキニヨリ宮川村長ハ一旦之ヲ中洲村ヘ編入スヘキノ飛地ナリトシテ取調書ヲ送付シタルコアルモ該飛地タル中洲四賀二村ノ間ニ介在シ之ヲ中洲村ノ飛地トスヘキカ將タ四賀村ノ飛地トスヘキカハ不明ノ事柄ニシテ縣令十九號ニ町村區域ニ在ル飛地ハ其所在地ニ編入ストアル其所在地ハ中洲四賀何レノ村ナルヤ定マラサルモノナルヲ以テ該縣令ニ依リ處分スルコト能ハサルモノナリ既ニ所在地ノ不明ナルヨリ該令ニ依リ處分スル能ハスシテ之レカ組替編入方ニ付異議ヲ生シタル以上ハ一旦取調書ヲ送付シタリトスルモ未タ以テ該令ニ依リ處分ヲ完了シタルモノトスルヲ得ス况ンヤ長野縣廳ハ本件飛地ハ何分之義相達候迄ハ宮川村ノ地籍ト可心得旨ヲ示達シ依然宮川村ノ地籍ニ屬セシメ置

タルモノナレハ之レカ處分ハ未ダ完了シタルニアラス從テ其地籍ノ中洲村ニ移リタルモノニアラサルヤ明ナリ而シテ其處分ヲ完了スルニ至ラス延テ今日ニ及ヒタル以上ハ之レカ地籍組替ヲ爲サンニハ新ニ村界ヲ變更シ地籍ノ異動ヲ爲スモノナルカ故ニ縣令第十九號ニ依ルヘキモノニアラスシテ更ニ町村制ノ規定ニ依リ處分セサルヘカラス何トナレハ縣令第十九號ハ飛地所在地ノ明カナルモノニ對シ町村制實施ノ際其處分ヲ命シタル一時ノ令規ニシテ本件ノ如キ其未定ナルモノニ對シテハ之ヲ適用シ難キノミナラス町村制ノ施行セラレ、以後ニ在リテハ該令ノ効力ハ仍存續スヘキモノニアラサレハナリ又訴願人ハ中洲村ト四賀村トノ兩村ニ分屬スヘキ區域ノ調査ヲ爲シタル未送籍シタルモノナレハ既ニ分屬區域モ判明シテ中洲村ノ地籍ニ移リタルモノナリト云フト雖モ縣令第十九號ハ飛地所在地カ數村ノ間ニ跨ルモノヲモ尙其分屬區域ヲ定メテ編入スヘキニトテ命シタルニアラサルヲ以テ町村制ヲ施行シタル以後ニ在リテハ之レカ分屬區域ヲ定ムルハ町村制ノ規定ニ依ラサルヘカラス然ルニ宮川村長カ分屬區域ヲ定メ送籍シタリトスルモ之レ町村制ノ規定ニ依リ正當ノ手續ヲ以テシタルモノニアラサレハ固ヨリ効力ヲ有スヘキモノニアラス故ニ之レヲ以テ分屬區域モ判明シテ中洲村ノ地籍ニ移リタルモノナリト云フヲ得サルナリ以上説明ノ如クナレハ郡參事會カ從來宮川村ニ屬スル宇沖通飛地ハ未ダ中洲村ニ編入ヲ了シタルモノニアラス今日之レカ地籍ニ關スル處分ヲ爲サンニハ町村制ノ規定ニヨルヘキモノナリトシタル裁決ハ取消スヘキ筋ナキモノトス其他訴願人ニ於テ申立ツル所アルモ必要ナキヲ以テ之レヲ説明セス

右ノ理由ナルヲ以テ裁決スル左ノ如シ

訴願人ノ申立相立タス

○行政裁判所判決

明治廿八年第四十九號
全年十一月十八日宣告

判決要旨

一 町村制第五條ニ町村ノ境界ニ關スル爭論云々トアルハ單ニ町村境界ノ何レニ在ルヤヲ爭論スルノ場合ヲ指示シタルモノニシテ彼我ノ間ニ爭ナキ境界ノ變更ヲ請求スルノ場合ヲモ包含スルモノニアラス

一 地籍ノ組替ヲ請求スルモノハ村境界ヲ爭フモノト云フヲ得ス

(參照) 町村ノ境界ニ關スル爭論ハ郡參事會之ヲ裁決ス其數郡ニ涉リ若クハ市ノ境界ニ涉ルモノハ府縣參事會之ヲ裁決ス其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
町制第五條町村境界ノ變更ヲ要スルトキハ關係アル町村會及地主ノ意見ヲ聞キ郡參事會之ヲ裁決ス其數郡ニ涉リ若クハ市ノ境界ニ涉ルモノハ府縣參

事會之ヲ裁決ス 町制第四條第二項

裁判宣告書

原告 長野縣諏訪郡中洲村村長 笠原賢三郎

被告 東京市神田區西小川町一丁目八番地 士族辯護士

訴訟代理人 高橋捨六
長野縣諏訪郡宮川村村長 中村甚之助

被告 東京市京橋區元數寄屋町二丁目 二番地辯護士
訴訟代理人 山田喜之助

右原告中洲村々長笠原賢三郎ヨリ被告宮川村々長中村甚之助ニ對スル村境界確定ノ件長野縣參事會裁決不服ノ訴ニ付被告ハ妨訴抗辯ヲ爲シタリ依テ之ヲ審理スルニ

被告抗辯ノ要旨ハ本件係争地字沖通ハ未タ原告村ノ地籍ニ屬セスシテ今尙被告村ノ地籍ニ屬スルコトハ原告モ認ムル所ナリ原告ハ唯長野縣令第十九號ニ依リ該地ハ原告村ニ屬スヘキ筈ナリト云フニ過キス元來縣令第十九號ハ町村制實施後ハ其効力ヲ失フタルモノナリ然レトモ假リニ今尙其効力アルモノト爲スモ原告ハ町村制第五條ニ依リ縣令第十九號ノ執行ヲ求メ得ヘキモノニアラス何トナレハ本件ハ境界ノ變更ヲ求ムルモノナレハ同制第四條第二項ニ該當スルモノニシテ同制第五條ニアル町村ノ境界ニ關スル爭論ニアラスレハナリ依テ原告ノ請求ハ行政訴訟ヲ許スヘキ範圍ニ屬セサルヲ以テ棄却セラレシコトヲ請フト云フニ在リ

原告辯駁ノ要旨ハ抑モ本件係争地ハ町村制實施ノ際長野縣令第十九號ニ依リ原告村ニ編入スヘキモノナルヲ以テ當時被告村ヨリ其取調書ヲ原告村ニ送致シナカラ直チニ其地籍送入ノ手續ヲ爲サ、リシカ爾來督促ノ未遂ニ明治廿三年十月二日ヲ以テ甲第十號證ノ如ク原告村ヘ地籍ヲ送入セリ唯當事者連署シテ郡役所ニ届出ヲ爲スノ一事ニ至リ被告村ハ拒ンテ之ヲ爲サス要スルニ飛地編入ノ手續ハ幾ント結了シタルモノナリ然ルニ明治二十六年十二月所轄郡役所ハ突然論争飛地ハ縣令第十九號ニ依ルヘキモノニアラス町村制第四條ニ依リ分屬區域ヲ定ムヘキモノナリト達セラレタリ是レ本訴ヲ提起シタル所以ナリ然ルニ被告ハ妨訴ノ抗辯ヲナシ本件ハ町村制第四條ノ處分ヲ受クヘキモノニシテ同制第五條ニ依リ出訴スヘキ限リニアラスト云フモ本訴飛地組替ノ如キハ縣令第十九號ニ基キ既ニ確定シ唯其殘務タル連署届出ノ一手續ヲ結了セサルノミナレハ之ヲ以テ町村制實施後新タニ生シ

タル分屬區域ノ處分ト同視シテ同制第四條ヲ適用スヘキモノナリト謂フヘ
カラス要スルニ本件ハ縣令第十九號ノ處分ニ屬スルモノナリ而シテ町村制
第五條ハ境界ノ變動即チ地籍争ノコトヲ規定シタルモノナレハ原告カ該條
ニ依リ本訴ヲ提起シタルハ當然ニシテ被告ノ抗辯ハ理由ナキモノナリト云
フニ在リ

依テ雙方ノ辯論ヲ聽キ理由ヲ説明スル左ノ如シ
原告ニ於テ町村制第五條ハ境界ノ變動即チ地籍争ノコトヲ規定シタルモノナ
リ故ニ本件長野縣令第十九號ノ處分ヨリ生シタル争論ハ同條ニ依リ出訴スル
ヲ得ヘシト云フト雖同條ニ町村ノ境界ニ關スル争論云々トアルハ單ニ町村境
界ノ何レニ在ルヤヲ争論スルノ場合ヲ指示シタルモノニシテ彼我ノ間ニ争ナ
キ境界ノ變更ヲ請求スルノ場合ヲモ包含スルモノニアラス而シテ本訴ハ原告
村カ長野縣令第十九號ニ基ツキ飛地字沖通りノ地籍組替ヲ請求スルモノニシ

テ原被兩村間ノ境界ヲ争フモノニアラサレハ之ヲ以テ町村制第五條ニアル町
村ノ境界ニ關スル争論ナリト謂フヲ得ス隨テ本件ハ同條ニ於テ行政訴訟ヲ許
シタルノ限りニアラサルモノトス其他雙方論辯スル所アルモ必要ナラサルヲ
以テ説明セス
右ノ理由ナルニ依リ判決スル左ノ如シ
本訴ハ之ヲ棄却ス
訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

第三 町村會議員選舉投票ノ効力ニ關スル件

(一) 村會議員選舉投票ノ効力ニ關スル件 明治二十八年六月十五日裁決

裁 決 要 旨

一 被選舉人ノ何人タルヲ認識シ得ル投票ハ有効ナリトス

一 投票中被選舉人ノ氏名ニ誤字脱落アルモ被選舉人中最能ク類似スル者ノ得票ト認定スルヲ相當トス

(參照) 左ノ得票ハ之ヲ無効トス(一) 人名ヲ記載セス又記載セル人名ノ讀ミ難キモノ(二) 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
町村制第廿三條第二項ノ二

裁 決 書

長野縣南佐久郡大日向村平民
訴願人 平岡惣吉

右訴願ノ要領ハ明治二十八年四月二日執行シタル大日向村々會議員半數改選一級選舉投票中平岡吉ト記載アル投票ハ之ヲ無効トストノ南佐久郡參事會ノ裁決全部ヲ取消シ更ニ該投票ハ訴願人ヲ選舉セシ投票ト確認シ得ヘキ有効投票ナリトノ裁決ヲ求ムルモノニシテ郡參事會ノ裁決ニ服セス本縣參事會ニ提起シタルモノナリ

訴願人ノ申立ル事實及理由トスル所ハ本年四月二日村會議員一級選舉會ヲ執行セシ結果訴願人ハ有効投票多數ヲ以テ當選ト決定セリ然ルニ其投票中一票平岡吉ト記載シ全ク物ノ一字ヲ脱落セル投票アリタレモ當村內平岡ノ姓ヲ稱スル者ハ二三之アルモ其名前ニ於テ吉ノ文字ヲ使用スル者ハ他ニ之レナキノミナラス訴願人平岡惣吉カ候補者タルコトハ村內一般知悉セシ所ナルニヨリ全ク訴願人ヲ投票シタルモノト確認シ得ヘキヲ以テ當時選舉掛并ニ選舉掛長モ之ヲ有効ト決定シタルニ同村淺川鬼子松小須田喜三郎ヨリ該投票ハ無効ナリトノ訴願ヲ提出シタルモ村會ハ之ヲ有効ノ投票ナリト裁決シタルニ服セス更ニ同人等ヨリ南佐久郡參事會ニ訴願セシニ同郡參事會ハ大日向村會ノ裁決ハ一ノ推測ニ過キス平岡吉ト明記シタル以上ハ平岡吉ナルモノヲ選舉シタルヘク然ルニ村內該當者ナシトセハ何人ヲ選舉セシヤ判明ナラサルヲ以テ該投票ハ町村制第二十三條第二項ノ二ニ該當シ被選人

ノ何人タルヲ確認スルコトヲ得サルニヨリ之ヲ有効ノ投票ト爲スヲ得スト
 裁決シタルハ不當ナリ何トナレバ訴願人ハ選舉ノ前一級議員ノ候補者ニ推
 選セラレ現ニ有効投票多數ヲ占メシ事實ノ存セルノミナラス平岡吉ト稱ス
 ル者ナク又平岡ノ姓ヲ使用スルモノニテ吉ノ文字ヲ用フル人名之レナキヲ
 以テ該投票ハ惣ノ一字ヲ脱セルモノト本村會ニ於テ裁決セシハ選舉法理ニ
 適合シタル判定ナリ又一旦選舉掛長ニ於テ有効ト決セシ審定權ハ郡參事會
 ノ爲メ左右セラルヘキモノニアラサルノミナラス選舉掛長ノ審定權ニテ確
 認シ得ヘキモノハ有因ノ推測ニ出ルモ又認定ニ出ルモ郡參事會カ上級權ヲ
 妄用シテ無効トスルコト能ハサル筋合ナルニ郡參事會カ選舉掛長ノ推理ニ
 基キ確認シタルモノヲ無効ト判定セシハ法文ノ解釋ヲ誤リ又選舉掛長ノ決
 定セシ審定權ヲ無視シタル失當ノ裁決ナリト云フニアリ
 依テ本縣參事會ハ町村制第三十七條ニ依リ之ヲ受理シ審査スル左ノ如シ

本件ノ主眼トスル所ハ平岡吉ナル投票ハ訴願人平岡惣吉ヲ選舉シタルト確認
 シ得ヘキ有効投票ナルヤ否ヲ判定スルニ在リ抑モ町村制第二十三條第二項ノ
 二ニ該當スヘキ無効投票ナルモノハ被選舉人ノ何人タルヤヲ確認シ難キ場合
 ニ限ラレタル條規ナルニ本訴平岡吉ト記載アル投票ハ其何人ナルヤヲ確認シ
 能ハサルモノニアラス何トナレハ同村内平岡ナル姓ハ數多アルモ其名ニ吉ナ
 ル文字ヲ用弗ル者訴願人平岡惣吉ノ外ニ之レナク現ニ同人ハ被選舉權ヲ有シ
 其得票十數點ヲ得タルノ事實ヨリ見ルモ平岡吉トアル投票ハ訴願人平岡惣吉
 ノ惣ノ一字ヲ脱落シタルモノト認定シ得ヘケレハナリ且法律ニ所謂被選舉人
 ノ何人タルヲ確認シ難キモノトハ同姓ニシテ其名詞ノ内吉ノ字ヲ用弗ル者他
 ニ之レアリテ投票記載ノ字ハ甲ヲ指示シタルヤ將タ乙ヲ指示シタルヤ之ヲ確
 認シ難キ場合ニ適合スヘキモノニシテ一字一點ノ脱落誤謬ヲモ含有スル絶對
 的ノモノニアラサレハ本件ノ如キ村内訴願人ノ外平岡姓ノ者ニシテ他ニ吉ノ

字ヲ用非ル者ナキコト明瞭ナル以上ハ該投票ハ之レニ記載アル氏名ノ最モ能ク類似スル訴願人平岡惣吉ヲ選舉シタルモノナリト確認シ得ヘキモノトス然ルニ南佐久郡參事會ニ於テ村會ノ裁決ハ一ノ推測ニ過キストシ平岡吉ト明記セシ上ハ平岡吉ナルモノヲ選舉シタルモノニシテ村內該當者ナシトセハ何人ヲ選舉セシヤ判明ナラサルヲ以テ町村制第二十三條第二項ノ二ニ該當スル無効投票ナリト裁決シタルハ其當ヲ得ス其他訴願人ニ於テ申立ル所アルモ必要ナキヲ以テ説明セス

右ノ理由ナルヲ以テ裁決スル左ノ如シ

郡參事會ノ裁決ハ之レヲ取消シ明治廿八年四月二日執行シタル大日向村々會議員一級選舉投票中平岡吉ト記載アル一票ハ訴願人平岡惣吉ノ有効得票ナリトス

○行政裁判所判決 明治二十八年第五十號
同年十一月八日宣告

判決要旨

一 投票記載ノ被選舉人氏名ニ誤脱誤字等不十分ナル所アルモ選舉當時ノ事實ニ徴シ其何人ヲ指示シタルヤヲ認識シ得ルニ於テハ其投票ハ有効ナリトス

裁判宣告書

原告

長野縣南佐久郡大日向村九十一番地
平民農

淺川 鬼子松

同縣同郡同村百二十三番地
平民農

小須田喜三郎

訴訟代理人
同縣北佐久郡岩村田町四百二十八番地
平民辯護士

井出善一郎

被告

長野縣參事會

長野縣知事

淺田德則

訴訟代理人

長野縣參事官

永井環

右原告淺川鬼子松外一名ヨリ被告長野縣參事會長野縣知事淺田德則ニ係ル不法裁決取消ノ訴雙方ノ辯論ヲ聽キ審理ヲ遂クル處

原告等訴求ノ要旨ハ明治二十八年四月二日長野縣南佐久郡大日向村々會議員半數改選ニ付選舉會ヲ開キ一級議員二名ノ投票ヲ執行セリ而シテ平岡惣吉得票中平岡吉ト記載シアル一票ヲ含有セルニ依リ選舉會ニ於テ異議アリ

シ爲メ選舉掛ハ可否札ニテ効力ノ有無ヲ決セシニ多數ヲ以テ有効ト決シ隨テ平岡惣吉ヲ第二高點ノ當選者ト爲セリ然レトモ原告等ハ該決定ハ町村制第二十三條ノ規定ニ違背スルモノト信スルヲ以テ同月五日本村會議長タル本村長ニ向テ該一票ノ効力ニ關シ訴願セシニ村長ハ同月二十七日裁決ヲナシテ該一票ヲ有効投票ト決セシモ其裁決ニハ勿論不服ナルヲ以テ同月二十九日南佐久郡參事會ニ向テ該裁決取消ノ訴願ヲ爲セシニ同參事會ハ同年五月九日ヲ以テ村會議長ノ裁決ヲ取消シ平岡吉トアル投票ハ無効トスト裁決シタリ然ルニ平岡惣吉ニ於テハ同參事會ノ裁決ヲ不當トシ同月三十日長野縣參事會即チ被告ニ向テ郡參事會ノ裁決ヲ取消スヘキ訴願ヲナセシニ被告ハ同年六月十五日ヲ以テ郡參事會ノ裁決ヲ取消シ平岡吉トアル一票ヲ有効トスト裁決セリ然レトモ町村制ヲ初トシ公法上諸般ノ選舉ヲ爲スニ當リ選舉ノ効力ヲ決定スルニハ最モ正確ニシテ最モ嚴肅ナラサルヘカラス徒ニ比

附引援若クハ推測臆斷等ノ間接ノ推理ヲ以テ現實ノ事實ヲ成立セシムルコトヲ得ス何トナレハ公民若クハ公共ノ代表權ナルモノハ法定ノ條件及資格ヲ現實ニ具備スルヲ必要トスヘキモノナレハナリ果シテ然レハ投票ニ表示スル文字カ甲者カ乙者カ何人ヲ指示シタルカヲ現實ニ認識シ得ルコト能ハサル程度ノモノナレハ之ヲ有効トシテ法定ノ公權ヲ授與スヘキ材料ニ供スルコトヲ許サ、ルハ現行法律ノ本旨トスル所ナリ况ンヤ人名ナルモノハ其氏名ヲ附スル一人體ノ名詞ニシテ隨テ此名詞カ其表示スル所ノ人體ヲ認識スルニ足ラサル不確定ノモノナルニ於テハ其人體カ何某ナルヤヲ明確ナラシムルコトヲ得サルハ言語上ノ法則ニ據ルモ明カナルニ於テヤ要之被告カ漫ニ間接ノ事實ニ基ツク推測ヲ以テ現實正確ヲ要スヘキ投票ノ効力如何ヲ判定シタルハ法則ヲ誤解シタル不法ノ裁決ト云ハサルヲ得ス又法律ノ解釋ハ之ヲ適用スヘキ事實カ一箇ナル場合ト多數ナル場合トニ因テ變更スヘ

キモノニアラス同一ノ程度ニ屬スル事實ナレハ如何ナル場合ニテモ同一ニ適用セラルヘキヤ言テ俟タス然ルニ被告ノ裁決ニ依ルトキハ平岡吉トアル投票ハ同村ニ於テ名ノ末字ニ吉ノ字ヲ附スル者一名ナレハ有効ニシテ二名以上ナレハ無効ナリトノ結果ヲ生スヘキナリ豈ニ奇怪ノ解釋ニアラスヤ要之注文ヲ適用スルニ當リ之ヲ適用スヘキ事實カ單數ナルト複數ナルトニ依リ之カ解釋ヲ異別ナラシメサルヘカラストセハ法律ハ原則ヲ立テス原理ヲ定メサル空文ニ屬シ遂ニ其効用ヲ全然執行スルコトヲ得サルニ至ルヘシ是レ被告ノ裁決カ法律ノ解釋ニ於テ不法アリトスル所以ナリ故ニ被告縣參事會ノ裁決ヲ取消シ平岡吉ト記載シタル一票ヲ無効トストノ判決アラシムコトヲ請求スト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ町村制第二十三條第二項ノ二ニ依レハ被選舉人ノ何人タルヤヲ確認シ難キモノトアルヲ以テ該項ヲ適用シ投票ヲ無効トスヘキモノ

ハ何レヨリスルモ其投票ニ記載アル氏名カ何人ヲ指示シタルヤ全ク之ヲ確認シ難キ場合ニ限ルヘクシテ苟モ選舉當時ノ事實ニ徴シ其何人ヲ指示シタルヤヲ認識シ得ヘキ以上ハ之ヲ無効トスヘキモノニアラス而シテ本件平岡吉ト記載アル投票ノ効力如何ヲ審査スルニ同村内平岡ナル姓ハ數多アルモ其名ニ吉ナル文字ヲ用ヰル者ハ平岡惣吉ノ外ニ之ナク現ニ同人ハ被選舉權ヲ有シ投票十數點ヲ得タルノ事實アルヲ以テ見ルモ該投票ハ平岡惣吉ノ惣ノ一字ヲ誤脱シタルモノト認定スルニ足ルヘク從テ之ニ記載アル平岡吉ハ平岡惣吉ヲ指示シタルコトヲ確認シ得ヘキカ故ニ之ヲ有効トスヘキハ當然ナリ然ルニ若シ原告等ノ論スル如クナリトセンカ投票ニ記載アル氏名ハ其文字通りノ氏名ニ該當スヘキ被選舉人ナキトキハ總テ之ヲ無効ト爲サルヲ得サルヘシ果シテ然リトセハ其投票ニ記載アル氏名ハ實際何人ヲ指示シタルヤヲ確認シ得ルニモ拘ラス其記載アル氏名ニ一字一點ノ誤字脱落アル

トキハ仍之ヲモ無効ト爲サルヲ得サルニ至ラン是決シテ法律ノ適用上其當ヲ得タルモノト云フヲ得ス又投票ニ記載アル氏名ハ何人ヲ指示シタルヤヲ判定スルハ一ニ毎投票ニ關聯スル選舉當時ノ事實ニ依ルヘキヲ以テ其事實ニシテ相違アリトセンカ投票ノ効力如何モ亦相違スヘキハ理ノ免カレサル所ナリ故ニ平岡吉ナル投票ヲ裁決スルニ當リ同村内平岡姓ニシテ其名ニ吉ナル文字ヲ附スル者一人ナルト數人ナルトハ其何人タルヤヲ判定スル上ニ於テ之カ結果ヲ異ニスヘキハ論ヲ俟タス何トナレハ假リニ平岡姓ニシテ吉ナル文字ヲ附スル者數人アリトスルトキハ該投票ハ其甲ヲ指示シタルヤ將又乙ヲ指示シタルヤ之ヲ判別シ難キヲ以テ法律ニ所謂被選舉人ノ何人タルヤヲ確認シ難キモノトアルニ該當スルモノナレハ之ヲ無効トスヘシト雖吉ナル文字ヲ附スルモノ平岡惣吉ノ外他ニ之ナキ以上ハ選舉當時ノ他ノ事實ニ徴シ其平岡惣吉ヲ指示シタルコトヲ確認シ得ヘキヲ以テ之ヲ有効トス

ヘキモノナレハナリ故ニ本件平岡吉ナル投票ハ平岡惣吉ノ有効投票ナリト
 裁決シタルハ相當ニシテ毫モ違法トスヘキ理由ナクレハ原告等ノ請求ヲ排
 斥セラレ度ト云フニ在リ

依テ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
 原告等ハ被告カ漫ニ間接ノ事實ニ基ツク推測ヲ以テ現實正確ヲ要スヘキ投票
 ノ効力如何ヲ判定シタルハ法則ヲ誤解シタルモノナリト云ヒ又法文ヲ適用ス
 ルニ當リ之ヲ適用スヘキ事實カ單數ナルト複數ナルトニ據リ之カ解釋ヲ異別
 ナラシメサルヘカラストセハ法律ハ原則ヲ立テス原理ヲ定メサル空文ニ屬シ
 テ遂ニ其効用ヲ全然執行スルコトヲ得サルニ至ルヘシト云フト雖町村制第二
 十三條ニ被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノトアルハ單ニ投票記載ノ氏名
 ニ依テ見レハ誤脱誤字等不十分ナル所アルモ選舉當時ノ事實ニ徴シテ其何人
 ヲ指示シタルヤヲ認識シ得ル投票ハ之ヲ有効タラシムルノ餘地ヲ與ヘタルモ

ノナリト解釋セサルヘカラスト而シテ本件ノ場合ノ如キ同村内平岡姓ヲ有スル
 者數名アルモ其名ニ吉ノ字ヲ用非ル者他ニ之ナキノミナラス平岡惣吉ニ於テ
 既ニ十餘箇ノ投票ヲ得タルノ事實アル以上ハ平岡吉ト記載アル投票ハ平岡惣
 吉ヲ選舉シタルモノト確認シ得ヘキナリ故ニ長野縣參事會ノ裁決ハ取消スヘ
 キ理由ナキモノトス
 右ノ理由ニ依リ判決スルコト左ノ如シ
 原告等ノ請求相立タス
 訴訟費用ハ原告等ノ負擔トス

第四 公民權ノ有無ニ關スル件

(一) 公民資格有無ニ關スル件 明治二十八年
六月七日裁決

裁 決 要 旨

一 單ニ二年以上町村ノ住民タルノミニテ町村ノ負擔ヲ分任シ及ヒ地租ヲ納メ若クハ直接國稅年額貳圓以上ヲ納ムルコト二年以來ナラザルモノハ公民權ヲ有セサルモノトス

(參照) 凡帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子二年以來(一)町村ノ住民トナリ(二)其町村ノ負擔ヲ分任シ及(三)其町村内ニ於テ地租ヲ納メ若クハ直接國稅年額貳圓以上ヲ納ムル者ハ其町村公民トス
制第七條

裁 決 書

南安曇郡南穗高村二百九十二番地
平民農

訴願者 山口彌市

右訴願ノ要領ハ町村制第七條公民タル資格ノ有無ニ關シ南穗高村會ニ於テ公

民權ナシト裁決シタルヲ不當トシ之カ取消ヲ南安曇郡參事會ニ訴願セシニ郡參事會ハ之ヲ採用セサルニ依リ本縣參事會ニ提出シタルモノナリ

訴願者申立ノ理由トスル所ハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子二年以來町村ノ住民トナルトキハ其町村ノ負擔ヲ分任シ及地租ヲ納メ若クハ直

接國稅年額貳圓以上ヲ納ムルハ二年以來ナラサルモ現在之ヲ分任シ之ヲ納ムルトキハ直ニ公民權ヲ有スヘキモノナルニ二年以來之ヲ分任シ之ヲ納ムサルヲ以テ公民權ナシト裁決シタルハ不當ナリト云フニアリ

依テ本縣參事會ハ町村制第三十七條ニ依リ之ヲ受理シ審査スル左ノ如シ訴願者ハ二年以來町村ノ住民トナルトキハ町村ノ負擔ヲ分任シ地租ヲ納ムル等ハ二年以來ナラサルモ公民權ヲ有スト云フト雖モ町村制第七條中二年以來トアルハ(一)町村ノ住民トナリ(二)其町村ノ負擔ヲ分任シ及(三)其町村内ニ於テ地租ヲ納メ若クハ直接國稅年額貳圓以上ヲ納ムルモノ云々トアルニ冠シタル文

字ナルヲ以テ訴願者ノ如ク二年以來町村ノ負擔ヲ分任シ地租ヲ納メサルモノ
ハ右要件ヲ欠クヲ以テ公民權ナキモノトス
右ノ理由ナルニ依リ裁決スル左ノ如シ
訴願者ノ申立相立タス

第五 町村會議員選舉人名簿ニ關スル件

(一) 村會議員選舉人名簿訂正ニ關スル件 明治二十八年六月七日裁決

裁 決 要 旨

- 一 町村税ハ町村ノ全部ヨリ徵收スルヲ常例トスレトモ又町村ノ一部ヨリ徵收スルノ特例アレハ區費ハ即チ町村税ニ外ナラス
- 一 町村制中町村會議員選舉人ノ資格ヲ定ムルニ直接町村税納額中一部ニ賦課スル町村税ヲ含有セストノ規定ナキヲ以テ同議員選

舉人名簿中直接村税納額ニ區費ヲ併算スルモ違法ニアラス

(參照)

選舉人ハ分テ二級トス選舉人中直接町村税ノ納額多キ者ヲ合セテ選舉人全員ノ納ムル總額ノ半ニ當ル可キ者ヲ一級トシ爾餘ノ選舉人ヲ二級トス 町村制第二十三條 町村税トシテ賦課スルコトヲ得ヘキ目左ノ如シ一國稅府縣稅ノ附加稅一直接又ハ間接ノ特別稅附加稅ハ直接ノ國稅又ハ府縣稅ニ附加シ均一ノ稅率ヲ以テ町村ノ全部ヨリ徵收スルヲ常例トス 町村制第九十條 町村内ノ一部ニ於テ專ラ使用スル營造物アルトキハ其部内ニ住居シ若クハ滞在シ又ハ土地家屋ヲ所有シ營業(店舖ヲ定メサル行商ヲ除ク)ヲ爲ス者ニ於テ其修築及保存ノ費用ヲ負擔ス可シ但其一部ノ所有財產アルトキハ其收入ヲ以テ先ツ其費用ニ充ツヘシ 町村制第九十

裁 決 書

更級郡村上村々長

訴願者 久保 太兵衛

右訴願ノ要領ハ明治二十八年五月二日更級郡參事會ニ於テ村會議員半數改選選舉人名簿中直接村稅納額ニ區費ヲ併算シテ選舉人ノ資格ヲ定メタルモノアルヲ違法トスル小林民吉ノ訴願ニ對シ區費ヲ併算スヘキモノニアラストシ選舉人名簿ヲ訂正スヘシト裁決シタルヲ不當トシ本縣參事會ニ提出シタルモノナリ

訴願者申立ノ理由トスル所ハ町村制第十三條ニ選舉人中直接町村稅ノ納額多キモノヲ合セ選舉人全員ノ納ムル總額ノ半ニ當ルモノヲ一級トシトアリテ其町村稅ニ就テハ町村全般ニ涉リ徵收スルモノト否トテ區別セス而シテ區費ナルモノハ區會ノ決議ニヨリ町村長ニ於テ徵收スルモノニシテ之ヲ議決スル區會ハ法律ノ認ムル原因ニヨリ町村機關ノ一トシテ設定セラル、ノ

ミナラス區會ノ設クナキ場合ハ町村會ニ於テ之ヲ議決スヘキモノナレハ區會ノ議決ハ効力ノ上ニ於テ町村會ノ議決ト同一ニシテ區費ハ町村會ト關係ヲ有セスト云フヲ得ス又町村制第九十條ニ附加稅ハ均一ノ稅率ヲ以テ町村ノ全部ヨリ徵收スルヲ常例トストアルハ暗ニ區費ノ如キ町村ノ一部ヨリ徵收スルノ異例アルコトヲ示シタルモノニシテ區費モ亦町村稅ナレハ選舉人名簿中直接町村稅納額ニ併算スルハ當然ナリト云フニアリ

依テ本縣參事會ハ町村制第三十七條ニ依リ之ヲ受理シ審査スル左ノ如シ
 町村稅ハ町村ノ全部ヨリ徵收スルヲ常例トスレトモ町村制第九十九條第二項ニ該當スルモノハ町村ノ一部ヨリ徵收スルノ特例アリ此特例ニ就テハ町村制第百十四條ニ依リ區會ヲ設クタルコトヲ得而シテ區會ヲ設クサル場合ニ於テハ町村會ニ於テ議決スルヲ得ヘキヲ以テ町村ノ一部ニ町村稅ヲ賦課スル事件ハ町村會ノ關スル所ニアラスト云フヲ得ス其町村稅負擔ノ區域ハ町村ノ全部ニ

涉ラスト雖モ其一部ニ住居スルモノハ法律ノ規定ニ依リ營造物財産共用ノ爲
メ負擔ヲ分任スルモノナレハ町村税ヲ納ムルカ爲メ附與セラル、所ノ權利ハ
町村ノ全部ニ涉ルモノト異ナルヨトナシ町村制第十三條中直接町村税納額中
一部ニ賦課スル町村税ヲ含有セストノ別段ノ規定ナキ以上ハ一部ニ賦課スル
町村税モ亦選舉人ノ階級ヲ定ムル納税額ニ算入スヘキモノトス故ニ村上村々
會議員半數改選ノ爲メ調製シタル選舉人名簿ハ適法ニシテ訂正スヘキモノニ
アラズ

右ノ理由ナルニ依リ裁決スル左ノ如シ

明治二十八年五月二日更級郡參事會カ小林民吉ニ與ヘタル裁決ヲ取消ス

(二)

村會議員選舉人名簿訂正ニ關スル件 明治二十八年六月十三日裁決

裁 決 要 旨

- 一 町村税ハ町村ノ全部ヨリ徵收スルヲ常例トスレトモ又町村ノ一
部ヨリ徵收スルノ特例アレハ區費ハ即チ町村税ニ外ナラス
- 一 町村制中町村會議員選舉人ノ資格ヲ定ムルニ直接町村税納額中
一部ニ賦課スル町村税ヲ含有セストノ規定ナキヲ以テ同議員選
舉人名簿中直接町村税納額ニ區費ヲ併算スルモ違法ニアラス

裁 決 書

長野縣東筑摩郡朝日村平民

訴願人 高 橋 政 重

右訴願ノ要領ハ東筑摩郡朝日村々會議員半數改選々舉人名簿中直接町村税納額
ニ各區ノ區費ヲ加算シテ選舉人ノ等級ヲ定メタルヲ違法トシ之レカ修正ヲ請
求スルモノニシテ東筑摩郡參事會ニ於テ該選舉人名簿ハ修正スヘキモノニア

ラスト裁決シタルヲ不服トシ本縣參事會ニ提起シタルモノナリ
 訴願人理由トスル所ノ要旨ハ第一區有財産ノ費用ハ區費ニシテ區費ハ村費
 ト其性質ヲ異ニスヘキハ言ヲ待タサルニ區費ヲ納ムルヲ以テ直チニ村稅ヲ
 納ムルモノト爲シ之ヲ村稅納額中ニ混入加算シタルハ不當ナリ第二假リニ
 區費ヲ村稅ナリトスルモ朝日村古見區ニ於テハ年々區有財産ヨリ生スル收
 入アルコト明白ナルニ東筑摩郡參事會カ村長齋藤六衛ノ證明ヲ偏信シ更ニ
 財産ヨリ生スル收入ナシト断定シタルハ不當ナリ第三朝日村ハ古見、針尾、小
 野澤、西洗馬ノ四區ニ分レ而シテ古見區ハ明治二十五年乃至二十七年ノ三年
 度間ノ區費ヲ明治二十七年度ニ至リ一度ニ徵收セントシ小野澤區ハ未タ右
 三年度ノ區費ヲ徵收セス針尾、西洗馬ノ二區ハ毎年度之ヲ徵收セリ斯ク賦課
 徵收ノ區々ナル區費ヲ合算シテ選舉人名簿ノ等級ヲ定メタルハ不法ナリ又
 右古見區明治二十七年度ノ區費ニハ性質上區費トスヘカラサルモノヲ算入

シアリトシ目下其削除訴願中ナルニモ拘ハラス之ヲ算入シタル選舉人名簿
 ニ完全ノ効力ヲ付セシハ違法ナリ依テ郡參事會ノ裁決ヲ取消シ更ニ選舉人
 名簿ハ納稅額ヨリ區費ヲ控除修正スヘシトノ裁決ヲ請フト云フニ在リ
 依テ本縣參事會ハ町村制第三十七條ニ依リ之ヲ受理シ審査スル左ノ如シ
 訴願人ニ於テ區費ハ村費ト其性質ヲ異ニスヘキモノナルニ區費ヲ納ムルヲ以
 テ直チニ村稅ヲ納ムルモノト爲シ之ヲ村稅納額中ニ混入加算シタルハ不法ナ
 リト云フト雖モ町村一部ノ營造物及ヒ財産共用ノ爲メ其一部ニ住居スル者カ
 負擔スル所ノ費用ハ町村制第九十九條第二項ノ規定ニ依リ賦課徵收スルモノ
 ナルヲ以テ其負擔ノ區域ハ町村ノ全部ニ涉ラスト雖モ亦町村稅ニ外ナラスシ
 テ其性質町村ノ全部ニ涉ル町村稅ト異ナルモノト云フヲ得ス而シテ町村制第
 十三條ノ直接町村稅納額ニハ一部ニ賦課スル町村稅ヲ含有セストノ別段ノ規
 定ナキヲ以テ一部ニ賦課スル町村稅モ亦選舉人ノ等級ヲ定ムル納稅額ニ算入

スヘキモノトス又賦課徴收ノ區々ナル區費ヲ合算シテ等級ヲ定メタルハ不當ナリト云フト雖モ既ニ一部ニ賦課スルモノモ亦町村税タル以上ハ各區賦課徴收ノ區々ナルカ爲メ其町村税タル性質ヲ失フヘキニアラサルヲ以テ之ヲ算入スヘキハ當然ナリ又古見區明治二十七年ノ區費ニハ性質上區費トスヘカラスアルモノヲ算入シアリトシ自下其削除訴願中ナルニモ拘ハラズ之ヲ算入シタル選舉人名簿ニ完全ノ効力ヲ付セシハ違法ナリト云フト雖モ町村制第百五條末項ノ規定アルニ依リ訴願中ニ係ルノ故ヲ以テ之ヲ削除スルコトヲ得ス其他訴願人ニ於テ申立ル所アルモ必要ナキヲ以テ説明セス

右ノ理由ナルヲ以テ裁決スル左ノ如シ

訴願人ノ申立相立タス

(三) 村會議員選舉人名簿訂正ニ關スル件 明治二十八年六月十三日裁決

裁 決 要 旨

- 一 町村税ハ町村ノ全部ヨリ徴收スルヲ常例トスレトモ又町村ノ一部ヨリ徴收スルノ特例アレハ區費ハ即チ町村税ニ外ナラス
- 一 町村制中町村會議員選舉人ノ資格ヲ定ムルニ直接町村税納額中一部ニ賦課スル町村税ヲ含有セストノ規定ナキヲ以テ同議員選舉人名簿中直接町村税納額ニ區費ヲ併算スルモ違法ニアラス

裁 決 書

長野縣東筑摩郡朝日村平民
訴願人 三 村 政 藏

右訴願ノ要領ハ東筑摩郡朝日村々會議員半數改選々舉人名簿中直接町村税納額ニ各區ノ區費ヲ加算シテ選舉人ノ等級ヲ定メタルヲ違法トシ之レカ修正ヲ請

求スルモノニシテ東筑摩郡參事會ニ於テ該選舉人名簿ハ修正スヘキモノニア
ラスト裁決シタルヲ不服トシ本縣參事會ニ提起シタルモノナリ

訴願人理由トスル所ノ要旨ハ第一區有財産ノ費用ハ區費ニシテ區費ハ村費
ト其性質ヲ異ニスヘキハ言ヲ待タサルニ區費ヲ納ムルヲ以テ直チニ村稅ヲ
納ムルモノト爲シ之ヲ村稅納額中ニ混入加算シタルハ不當ナリ第二假リニ
區費ヲ村稅ナリトスルモ朝日村古見區ニ於テ八年々區有財産ヨリ生スル收
入アルコト明白ナルニ東筑摩郡參事會カ村長齋藤六衛ノ證明ヲ偏信シ更ニ
財産ヨリ生スル收入ナシト斷定シタルハ不當ナリ第三朝日村ハ古見、針尾、小
野澤、西洗馬ノ四區ニ分レ而シテ古見區ハ明治二十五年乃至二十七年ノ三年
度間ノ區費ヲ明治二十七年一度ニ徵收セシトシ小野澤區ハ未タ右
三年度ノ區費ヲ徵收セス針尾、西洗馬ノ二區ハ毎年度之ヲ徵收セリ斯ク賦課
徵收ノ區々ナル區費ヲ合算シテ選舉人名簿ノ等級ヲ定メタルハ不法ナリ又

古見區明治二十七年一度ノ區費ニハ性質上區費トスヘカラサルモノヲ算入シ
アリトシ目下其削除訴願中ナルニモ拘ハラス之ヲ算入シタル選舉人名簿ニ
完全ノ効力ヲ付セシハ違法ナリ依テ郡參事會ノ裁決ヲ取消シ更ニ選舉人名
簿ハ納稅額ヨリ區費ヲ控除修正スヘシトノ裁決ヲ請フト云フニ在リ
依テ本縣參事會ハ町村制第三十七條ニ依リ之ヲ受理シ審査スル左ノ如シ
訴願人ニ於テ區費ハ村費ト其性質ヲ異ニスヘキモノナルニ區費ヲ納ムルヲ以
テ直チニ村稅ヲ納ムルモノト爲シ之ヲ村稅納額中ニ混入加算シタルハ不法ナ
リト云フト雖モ町村一部ノ營造物及ヒ財産共用ノ爲メ其一部ニ住居スル者カ
負擔スル所ノ費用ハ町村制第九十九條第二項ノ規定ニ依リ賦課徵收スルモノ
ナルヲ以テ其負擔ノ區域ハ町村ノ全部ニ涉ラスト雖モ亦町村稅ニ外ナラスシ
テ其性質町村ノ全部ニ涉ル町村稅ト異ナルモノト云フヲ得ス而シテ町村制第
十三條ノ直接町村稅納額ニハ一部ニ賦課スル町村稅ヲ含有セストノ別段ノ規

定ナキヲ以テ一部ニ賦課スル町村税モ亦選舉人ノ等級ヲ定ムル納税額ニ算入
 スヘキモノトス又賦課徴收ノ區々ナル區費ヲ合算シテ等級ヲ定メタルハ不當
 ナリト云フト雖モ既ニ一部ニ賦課スルモノモ亦町村税タル以上ハ各區賦課徴
 收ノ區々ナルカ爲メ其町村税タル性質ヲ失フヘキニアラサルヲ以テ之ヲ算入
 スヘキハ當然ナリ又古見區明治二十七年度ノ區費ニハ性質上區費トスヘカラ
 サルモノヲ算入シアリトシ目下其削除訴願中ナルニモ拘ハラス之ヲ算入シタ
 ル選舉人名簿ニ完全ノ効力ヲ付セシハ違法ナリト云フト雖モ町村制第一百五條
 末項ノ規定アルニ依リ訴願中ニ係ルノ故ヲ以テ之ヲ削除スルコトヲ得ス其他
 訴願人ニ於テ申立ル所アルモ必要ナキヲ以テ説明セス
 右ノ理由ナルヲ以テ裁決スル左ノ如シ
 訴願人ノ申立相立タス

(四) 村會議員選舉人名簿訂正ニ關スル件 明治二十八年六月十三日裁決

裁 決 要 旨

- 一 町村税ハ町村ノ全部ヨリ徴收スルヲ常例トスレトモ又町村ノ一
 部ヨリ徴收スルノ特例アレハ區費ハ即チ町村税ニ外ナラス
- 一 町村制中町村會議員選舉人ノ資格ヲ定ムルニ直接町村税納額中
 一部ニ賦課スル町村税ヲ含有セストノ規定ナキヲ以テ同議員選
 舉人名簿中直接村税納額ニ區費ヲ併算スルモ違法ニアラス

裁 決 書

長野縣東筑摩郡朝日村平民

訴願人 青 柳 久 八

外 一 名

右訴願ノ要領ハ東筑摩郡朝日村々會議員半數改選々舉人名簿中直接村税納額ニ各區ノ區費ヲ加算シテ選舉人ノ等級ヲ定メタルヲ違法トシ之レカ修正ヲ請求スルモノニシテ東筑摩郡參事會ニ於テ該選舉人名簿ハ修正スヘキモノニアラスト裁決シタルヲ不服トシ本縣參事會ニ提起シタルモノナリ

訴願人理由トスル所ノ要旨ハ第一區有財産ノ費用ハ區費ニシテ區費ハ村費ト其性質ヲ異ニスヘキハ言ヲ待タサルニ區費ヲ納ムルヲ以テ直ニ村税ヲ納ムルモノト爲シ之ヲ村税納額中ニ混入加算シタルハ不當ナリ第二假リニ區費ヲ村税ナリトスルモ朝日村古見區ニ於テ八年々區有財産ヨリ生スル収入アルコト明白ナルニ東筑摩郡參事會カ村長齋藤六衛ノ證明ヲ偏信シ更ニ財産ヨリ生スル収入ナシト斷定シタルハ不當ナリ第三朝日村ハ古見針尾小野澤西洗馬ノ四區ニ分レ而シテ古見區ハ明治二十五年乃至二十七年ノ三年度間ノ區費ヲ明治二十七年年度ニ至リ一度ニ徵收セントシ小野澤區ハ未タ右三

年度ノ區費ヲ徵收セス針尾西洗馬ノ二區ハ毎年度之ヲ徵收セリ斯ク賦課徵收ノ區々ナル區費ヲ合算シテ選舉人名簿ノ等級ヲ定メタルハ不法ナリ又古見區明治二十七年年度ノ區費ニハ性質上區費トスヘカラサルモノヲ算入シアリトシ目下其削除訴願中ナルニモ拘ハラズ之ヲ算入シタル選舉人名簿ニ完全ノ効力ヲ付セシハ違法ナリ依テ郡參事會ノ裁決ヲ取消シ更ニ選舉人名簿ハ納税額ヨリ區費ヲ控除修正スヘシトノ裁決ヲ請フト云フニ在リ

依テ本縣參事會ハ町村制第三十七條ニ依リ之ヲ受理シ審査スル左ノ如シ訴願人ニ於テ區費ハ村費ト其性質ヲ異ニスヘキモノナルニ區費ヲ納ムルヲ以テ直チニ村税ヲ納ムルモノト爲シ之ヲ村税納額中ニ混入加算シタルハ不法ナリト云フト雖モ町村一部ノ營造物及ヒ財産共用ノ爲メ其一部ニ住居スル者カ負擔スル所ノ費用ハ町村制第九十九條第二項ノ規定ニ依リ賦課徵收スルモノナルヲ以テ其負擔ノ區域ハ町村ノ全部ニ涉ラスト雖モ亦町村税ニ外ナラスシ

テ其性質町村ノ全部ニ渉ル町村税ト異ナルモノト云フヲ得ス而シテ町村制第十三條ノ直接町村税納額ニハ一部ニ賦課スル町村税ヲ含有セストノ別段ノ規定ナキヲ以テ一部ニ賦課スル町村税モ亦選舉人ノ等級ヲ定ムル納税額ニ算入スヘキモノトス又賦課徴收ノ區々ナル區費ヲ合算シテ等級ヲ定メタルハ不當ナリト云フト雖モ既ニ一部ニ賦課スルモノモ亦町村税タル以上ハ各區賦課徴收ノ區々ナルカ爲メ其町村税タル性質ヲ失フヘキニアラサルヲ以テ之ヲ算入スヘキハ當然ナリ又古見區明治二十七年度ノ區費ニハ性質上區費トスヘカラサルモノヲ算入シアリトシ目下其削除訴願中ナルニモ拘ハラス之ヲ算入シタル選舉人名簿ニ完全ノ効力ヲ付セシハ違法ナリト云フト雖モ町村制第一百五條末項ノ規定アルニ依リ訴願中ニ係ルノ故ヲ以テ之ヲ削除スルコトヲ得ス其他訴願人ニ於テ申立ル所アルモ必要ナキヲ以テ説明セス

右ノ理由ナルヲ以テ裁決スル左ノ如シ

訴願人ノ申立相立タス

(五) 村會議員選舉人名簿訂正ニ關スル件 明治二十八年六月十三日裁決

裁 決 要 旨

- 一 町村税ハ町村ノ全部ヨリ徴收スルヲ常例トスレトモ又町村ノ一部ヨリ徴收スルノ特例アレハ區費ハ即チ町村税ニ外ナラス
- 一 町村制中町村會議員選舉人ノ資格ヲ定ムルニ直接町村税納額中一部ニ賦課スル町村税ヲ含有セストノ規定ナキヲ以テ同議員選舉人名簿中直接町村税納額ニ區費ヲ併算スルモ違法ニアラス

裁 決 書

長野縣東筑摩郡朝日村平民

訴願人 北村 爲治

外 二 名

右訴願ノ要領ハ東筑摩郡朝日村々會議員半數改選々舉人名簿中直接村稅納額ニ各區ノ區費ヲ加算シテ選舉人ノ等級ヲ定メタルヲ違法トシ之レカ修正ヲ請求スルモノニシテ東筑摩郡參事會ニ於テ該選舉人名簿ハ修正スヘキモノニアラスト裁決シタルヲ不服トシ本縣參事會ニ提起シタルモノナリ

訴願人理由トスル所ノ要旨ハ第一區有財産ノ費用ハ區費ニシテ區費ハ村費ト其性質ヲ異ニスヘキハ言ヲ待タサルニ區費ヲ納ムルヲ以テ直チニ村稅ヲ納ムルモノト爲シ之ヲ村稅納額中ニ混入加算シタルハ不當ナリ第二假リニ區費ヲ村稅ナリトスルモ朝日村古見區ニ於テ年々區有財産ヨリ生スル収入アルコト明白ナルニ東筑摩郡參事會カ村長齋藤六衛ノ證明ヲ偏信シ更ニ財

産ヨリ生スル収入ナシト断定シタルハ不當ナリ第三朝日村ハ古見針尾小野澤西洗馬ノ四區ニ分レ而シテ古見區ハ明治二十五年乃至二十七年ノ三年度間ノ區費ヲ明治二十七年年度ニ至リ一度ニ徵收セントシ小野澤區ハ未タ右三年度ノ區費ヲ徵收セス針尾西洗馬ノ二區ハ毎年度之ヲ徵收セリ斯ク賦課徵收ノ區々ナル區費ヲ合算シテ選舉人名簿ノ等級ヲ定メタルハ不法ナリ又古見區明治二十七年年度ノ區費ニハ性質上區費トスヘカラサルモノヲ算入シアリトシ目下其削除願中ナルニモ拘ハラス之ヲ算入シタル選舉人名簿ニ完全ノ効力ヲ付セシハ違法ナリ依テ郡參事會ノ裁決ヲ取消シ更ニ選舉人名簿ハ納稅額ヨリ區費ヲ控除修正スヘシトノ裁決ヲ請フト云フニ在リ
依テ本縣參事會ハ町村制第三十七條ニ依リ之ヲ受理シ審査スル左ノ如シ
訴願人ニ於テ區費ハ村費ト其性質ヲ異ニスヘキモノナルニ區費ヲ納ムルヲ以テ直チニ村稅ヲ納ムルモノト爲シ之ヲ村稅納額中ニ混入加算シタルハ不法ナ

リト云フト雖モ町村一部ノ營造物及ヒ財産共用ノ爲メ其一部ニ住居スル者カ
 負擔スル所ノ費用ハ町村制第九十九條第二項ノ規定ニ依リ賦課徴收スルモノ
 ナルヲ以テ其負擔ノ區域ハ町村ノ全部ニ涉ラスト雖モ亦町村税ニ外ナラスシ
 テ其性質町村ノ全部ニ涉ル町村税ト異ナルモノト云フヲ得ス而シテ町村制第
 十三條ノ直接町村税納額ニハ一部ニ賦課スル町村税ヲ含有セストノ別段ノ規
 定ナキヲ以テ一部ニ賦課スル町村税モ亦選舉人ノ等級ヲ定ムル納税額ニ算入
 スヘキモノトス又賦課徴收ノ區々ナル區費ヲ合算シテ等級ヲ定メタルハ不當
 ナリト云フト雖モ既ニ一部ニ賦課スルモノモ亦町村税タル以上ハ各區賦課徴
 收ノ區々ナルカ爲メ其町村税タル性質ヲ失フヘキニアラサルヲ以テ之ヲ算入
 スヘキハ當然ナリ又古見區明治二十七年ノ區費ニハ性質上區費トスヘカラ
 サルモノヲ算入シアリトシ目下其削除訴願中ナルニモ拘ハラズ之ヲ算入シタ
 ル選舉人名簿ニ完全ノ効力ヲ付セシハ違法ナリト云フト雖モ町村制第一百五條
 末項ノ規定アルニ依リ訴願中ニ係ルノ故ヲ以テ之ヲ削除スルコトヲ得ス其他
 訴願人ニ於テ申立ル所アルモ必要ナキヲ以テ説明セス
 右ノ理由ナルヲ以テ裁決スル左ノ如シ
 訴願人ノ申立相立タス

(六)

裁 決 要 旨

村會議員選舉人名簿訂正ニ關スル件 明治二十八年六月十四日裁決

- 一 町村税ハ町村ノ全部ヨリ徴收スルヲ常例トスレトモ又町村ノ一部ヨリ徴收スルノ特例アレハ區費ハ即チ町村税ニ外ナラス
- 一 町村制中町村會議員選舉人ノ資格ヲ定ムルニ直接町村税納額中一部ニ賦課スル町村税ヲ含有セストノ規定ナキヲ以テ同議員選舉人名簿中直接村税納額ニ區費ヲ併算スルモ違法ニアラス

裁 決 書

六十八

長野縣東筑摩郡朝日村平民

訴願人 鹽 原 慶 吉

外 七 名

右訴願ノ要領ハ東筑摩郡朝日村々會議員半數改選々舉人名簿中直接村稅納額ニ各區ノ區費ヲ加算シテ選舉人ノ等級ヲ定メタルヲ違法トシ之レカ修正ヲ請求スルモノニシテ東筑摩郡參事會ニ於テ該選舉人名簿ハ修正スヘキモノニアラスト裁決シタルヲ不服トシ本縣參事會ニ提起シタルモノナリ

訴願人理由トスル所ノ要旨ハ第一區有財産ノ費用ハ區費ニシテ區費ハ村費ト其性質ヲ異ニスヘキハ言ヲ待タサルニ區費ヲ納ムルヲ以テ直チニ村稅ヲ納ムルモノト爲シ之ヲ村稅納額中ニ混入加算シタルハ不當ナリ第二假リニ區費ヲ村稅ナリトスルモ朝日村古見區ニ於テハ年々區有財産ヨリ生スル收

入アルコト明白ナルニ東筑摩郡參事會カ村長齋藤六衛ノ證明ヲ偏信シ更ニ財産ヨリ生スル收入ナシト断定シタルハ不當ナリ第三朝日村ハ古見、針尾、小野澤、西洗馬ノ四區ニ分レ而シテ古見區ハ明治二十五年乃至二十七年ノ三年度間ノ區費ヲ明治二十七年度ニ至リ一度ニ徵收セントシ小野澤區ハ未タ右三年度ノ區費ヲ徵收セス針尾、西洗馬ノ二區ハ毎年度之ヲ徵收セリ斯ク賦課徵收ノ區々ナル區費ヲ合算シテ選舉人名簿ノ等級ヲ定メタルハ不法ナリ又古見區明治二十七年度ノ區費ニハ性質上區費トスヘカラサルモノヲ算入シテアリトシ目下其削除訴願中ナルニモ拘ハラス之ヲ算入シタル選舉人名簿ニ完全ノ効力ヲ付セシハ違法ナリ依テ郡參事會ノ裁決ヲ取消シ更ニ選舉人名簿ハ納稅額ヨリ區費ヲ控除修正スヘシトノ裁決ヲ請フト云フニ在リ
依テ本縣參事會ハ町村制第三十七條ニ依リ之ヲ受理シ審査スル左ノ如シ
訴願人ニ於テ區費ハ村費ト其性質ヲ異ニスヘキモノナルニ區費ヲ納ムルヲ以

六十九

テ直チニ村税ヲ納ムルモノト爲シ之ヲ村税納額中ニ混入加算シタルハ不法ナ
 リト云フト雖モ町村一部ノ營造物及ヒ財産共用ノ爲メ其一部ニ住居スル者カ
 負擔スル所ノ費用ハ町村制第九十九條第二項ノ規定ニ依リ賦課徴收スルモノ
 ナルヲ以テ其負擔ノ區域ハ町村ノ全部ニ涉ラスト雖モ亦町村税ニ外ナラズシ
 テ其性質町村ノ全部ニ涉ル町村税ト異ナルモノト云フヲ得ス而シテ町村制第
 十三條ノ直接町村税納額ニハ一部ニ賦課スル町村税ヲ含有セストノ別段ノ規
 定ナキヲ以テ一部ニ賦課スル町村税モ亦選舉人ノ等級ヲ定ムル納税額ニ算入
 スヘキモノトス又賦課徴收ノ區々ナル區費ヲ合算シテ等級ヲ定メタルハ不當
 ナリト云フト雖モ既ニ一部ニ賦課スルモノモ亦町村税タル以上ハ各區賦課徴
 收ノ區々ナルカ爲メ其町村税タル性質ヲ失フヘキニアラサルヲ以テ之ヲ算入
 スヘキハ當然ナリ又古見區明治二十七年ノ區費ニハ性質上區費トスベカラ
 サルモノヲ算入シアリトシ目下其削除訴願中ナルニモ拘ハラス之ヲ算入シタ

ル選舉人名簿ニ完全ノ効力ヲ付セシハ違法ナリト云フト雖モ町村制第一百五條
 末項ノ規定アルニ依リ訴願中ニ係ルノ故ヲ以テ之ヲ削除スルコトヲ得ス其他
 訴願人ニ於テ申立ル所アルモ必要ナキヲ以テ説明セス
 右ノ理由ナルヲ以テ裁決スル左ノ如シ
 訴願人ノ申立相立タス

第六 町村會議員選舉ノ効力ニ關スル件

(一) 村會議員選舉取消ニ關スル件 明治二十八年
六月七日裁決

裁 決 要 旨

一 議員選舉ノ効力ニ關スル村會ノ裁決ニ服セズ郡參事會へ訴願ス
 ル爲メニ與ヘラレタル十四日ノ期間ハ裁決書ノ交付又ハ告知ア
 リタル日ヨリ起算スベキモノニシテ訴願人が村會ニ於テ議事ニ

參與シ自ラ其裁決ヲ了知スルノ故ヲ以テ村會決議ノ日ヨリ起算スルハ不當ナリトス

一 村會議員選舉ニ於テ選舉無資格者ノ投票アルモ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサル以上ハ其選舉ハ有効ナリトス

(參照)

町村ノ行政ニ關スル訴願ハ處分書著クハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ十四日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出ス可

町村制第百二十條第二項

裁 決 書

長野縣南佐久郡内山村平民
訴願人 金 井 金 吾

右訴願ノ要領ハ明治二十八年四月一日執行シタル内山村々會議員半數改選ニ

級選舉會ヲ違法トシ之レカ取消ヲ請求スルモノニシテ内山村會ニ於テ該選舉會ハ取消スヘキモノト裁決シタルニ右二級選出村會議員岩井理三郎佐藤定彌ノ二名ハ該裁決ニ服セス之ヲ南佐久郡參事會ニ訴願シタルニ同參事會ニ於テ該選舉會ハ取消スヘキモノニアラスト裁決シタルヲ不當トシ之レカ取消ヲ本縣參事會ニ提起シタルモノナリ

訴願人理由トスル所ノ要旨ハ明治二十八年四月一日執行シタル内山村々會議員半數改選二級選舉會ハ一步ヲ讓リテ郡參事會裁決ノ如ク取消スヘキモノニアラストスルモ違法選舉取消ノ訴願ニ付岩井理三郎佐藤定彌ノ二名ハ現ニ村會議員トシテ四月八日開會シタル村會ニ出席シ岩井理三郎ノ發議ニテ該選舉會ハ取消スヘキモノト決議シタルモノニシテ全人等ハ裁決書ノ交付又ハ之レカ告知ヲ得サルモ之ヲ知り得タルモノナルヲ以テ四月八日決議ノ日ヨリ起算シ同月二十一日迄ノ間ニ訴願スヘキニ期限經過ノ四月三十日ニ

至リ之ヲ提起シタルハ既ニ訴願權ヲ失シタルモノナリ然ルニ郡參事會ハ之ヲ受理シテ裁決ヲ與ヘタルハ不當ナルニ付之レカ取消ヲ請フト云フニ在リ依テ本縣參事會ハ町村制第三十七條ニ依リ之ヲ受理シ審査スル左ノ如シ訴願人岩井理三郎及佐藤定彌ハ村會議員トシテ自ラ發議シ其決議ニ參與シタルモノナルハ故ラニ裁決ノ告知ヲ得サルモ之ヲ知り得タルモノナルヲ以テ四月八日決議ノ日ヨリ起算シ同月二十一日迄ノ間ニ訴願スヘキニ四月三十日ニ至リ之ヲ提起シタルハ既ニ期限ヲ失シタル者ナリト云フト雖モ町村制第二百十條第二項ニ裁決書ノ交付又ハ告知トアルハ裁決ノ執行者カ相當ノ手續ニ依リテ爲シタル交付又ハ告知ヲ云フモノニシテ尙シ岩井理三郎佐藤定彌等カ村會ニ出席シ裁決ノ議事ニ參與シテ其決議アリタルコトヲ知り得ルトスルモ之レ只村會議員トシテ其職務ヲ盡スニ當リ單ニ決議アルコトヲ知ルニ止リ之ヲ以テ直ニ裁決書ノ交付又ハ告知ト云フト得サレハ四月八日決議ノ日ヨリ起算

スヘキモノニアラスシテ相當ノ手續ニ依リタル裁決書交付又ハ告知ノ日ヨリ起算スヘキモノナリ左レハ同人等カ四月三十日ニ至リ訴願ヲ提起シタルモ裁決書交付ノ日即チ四月十九日ヨリ起算シ尙十四日以内ナルヲ以テ訴願期限ヲ失シタルモノト云フト得ス而シテ當初訴願人ノ申立ニ係ル選舉權ナキ金井久治郎ノ投票ハ之ヲ無効トシ當選者佐藤定彌岩井理三郎岩崎龍太郎ノ三名中得點數ノ最モ少ナキ岩崎龍太郎ノ點數ヨリ控除スルモ尙其次點者金井金吾ノ得點數ヨリ多シシテ選舉ノ結果ニハ毫モ異動ヲ生セサレハ之ヲ以テ二級選舉會全部ヲ取消スノ理由トスルニ足ラス故ニ郡參事會ノ裁決ハ相當ニシテ取消スヘキ筋ナキモノトス

右ノ理由ナルヲ以テ裁決スル左ノ如シ

訴願人ノ申立相立タス

(二) 村會議員選舉取消ニ關スル件 明治二十八年六月十二日裁決

裁 決 要 旨

- 一 代人投票ノ場合ニ選舉錄ニ於テ選舉ノ正當ニ結了シタルヲ證スル以上ハ其代人投票モ亦適法ニ行ヒタルモノト認ムルヲ相當トス
- 一 町村制中選舉錄ニハ選舉ノ顛末ヲ記載スヘキコトヲ規定シアルモ其記載スヘキ事項ヲ限定セサルヲ以テ選舉錄ニ代人投票ノアリシコトヲ記載セサルモ違法ニアラス
- 一 町村制中代人投票ノ場合ニ於テ委任狀ヲ選舉關係書類トシテ合綴保存スヘキ規定ナキヲ以テ選舉掛ニ於テ之ヲ代人ニ返付シ保存セサルモ違法ニアラス

(參照) 第十二條第二項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ代人ヲ出シテ選舉ヲ

行フコトヲ得若シ其獨立ノ男子ニ非サル者又ハ會社其他法人ニ係ルトキハ必ス代人ヲ以テス可シ其代人ハ内國人ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子ニ限ル但一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス且代人ハ委任狀ヲ選舉掛ニ示シテ代理ノ證トス可シ 町村制第十四條 第 選 舉 掛 ハ 選 舉 錄 ヲ 製 シ テ 選 舉 ノ 顛 末 ヲ 記 録 シ 選 舉 ヲ 終 リ タル 後 之 ヲ 朗 讀 シ 選 舉 人 名 簿 其 他 關 係 書 類 ヲ 合 綴 シ テ 之 ニ 署 名 ス 可 シ 投 票 ハ 之 ヲ 選 舉 錄 ニ 附 屬 シ 選 舉 ヲ 結 了 ス ル ニ 至 ル 迄 之 ヲ 保 存 ス 可 シ 町村制第二十七條第一項第二項

裁 決 書

長野縣南安曇郡高家村
 訴願人 三原厚二
 外 一名

右訴願ノ要領ハ明治二十八年四月一日執行シタル南安曇郡高家村々會議員半數改選一級選舉會ハ選舉ノ規定ニ違背セルモノトシ之レカ取消ヲ請求スルモノニシテ南安曇郡參事會ノ裁決ニ服セス本縣參事會ニ提起シタルモノナリ

訴願人理由トスル所ノ要旨ハ第一飯田總平ハ町村制ノ所謂獨立ノ男子ニアラサルカ故ニ必ス代人ヲ以テ投票ヲ行ハサルヘカラス然ルニ同人カ投票ヲ爲シタルコトハ明カナルモ飯田伴十郎ヲ代人トシ投票ヲ爲サシメタルコトニ付テハ何等ノ證據事蹟モ之レナキヲ以テ右飯田總平ハ自身ニ投票ヲ行ヒタルモノト推定セサルヲ得スシテ是レ即チ町村制第二十四條第二項ノ法文ニ違背シタルモノナリ第二假リニ飯田總平ハ飯田伴十郎ヲ代人トシ真正ノ委任狀ヲ持參セシメテ投票シタリトスルモ代人ハ委任狀ヲ選舉掛ニ示シ選舉掛長ハ其正否ニ付選舉掛一同ノ假議決ヲ經サルヘカラスナルニ選舉掛ノ一人曾根原太喜彌ノ證明ニアル如ク單ニ一二選舉掛ノミ之ヲ認メ太喜彌ノ如キハ委任狀ヲ見タルコトモナク選舉掛長ノ獨斷ヲ以テ之ヲ正當ト認メ投票ヲ爲サシメタルハ町村制第二十三條第三項ニ違背シタルモノナリ第三更ニ歩ヲ讓リ總テ適法ノ手順ヲ踐ミタリトスルモ代人投票ノ如キ異例ノ事ハ之ヲ選舉錄ニ記載セサルヘカラスナルニ其頗末ヲ記錄セサルハ町村制第二十七條ニ違背シタルモノナリ第四又委任狀ハ選舉掛長タリシ竹内榮三郎ノ證明ニアル如ク代人飯田伴十郎ニ於テ持歸リタリトコトナレトモ委任狀ノ如キ重要書類ハ選舉關係書類トシテ選舉掛ニ於テ合綴保存スヘキ筈ナルニ之ヲ保存セサルハ是又町村制第二十七條第二項ニ違背セルモノナリ然ルニ郡參事會ニ於テ之レ等ノ事項ハ選舉ノ定規ニ違背シタルモノニアラストシ訴願ノ趣旨ヲ排斥シタルハ不當ニ付該裁決ヲ取消シ更ニ相當ノ裁決ヲ請フト云フニ在リ

依テ本縣參事會ハ町村制第三十七條ニ依リ之ヲ受理シ審査スル左ノ如シ

訴願人ニ於テ第一飯田總平カ投票ヲ爲シタルコトハ明カナルモ代人ヲ以テ投票セシメタルコトニ付テハ何等ノ證據事蹟モ之レナキヲ以テ自身ニ投票ヲ爲シタルモノト推定セサルヲ得スト云フト雖モ選舉掛長タリシ高家村長竹内榮三郎カ宮澤榮治外二名ニ與ヘタル證明書及ヒ同人カ高木勇太郎外三名ニ與ヘタル證明書ニ依レハ飯田伴十郎カ選舉ノ當日出頭シテ飯田總平ノ代人トシテ投票シタルコトヲ認ムルニ足ルヘク且選舉掛一同カ其選舉ノ正當ナルヲ證シタルヲ以テ見レハ飯田總平ハ正當代人ヲ以テ投票セシメタルモノト認定セサルヘカラス第二假リニ飯田伴十郎ヲ代人トシ眞正ノ委任狀ヲ持參セシメテ投票シタリトスルモ選舉掛長ハ委任狀ノ正否ニ付選舉掛一同ノ假議決ヲ經サルヘカラスルニ其獨斷ヲ以テ之ヲ正當ト認メ投票セシメタルハ町村制第二十三條末項ニ違背セリト云フト雖モ町村制第二十三條末項ハ投票ノ受理并効力ニ關シテ疑義ヲ生シ其決議ノ必要アル場合ノ手續ヲ示シタルモノナレハ選舉掛

及ヒ選舉掛長カ正當ト認メ委任狀ノ正否ニ對シ當時何等ノ異議ヲ生セス從テ投票ノ受理并効力ニ疑義ヲ生シタルニアラサルモノヲモ猶決議スヘキノ謂ヒアラヌ而シテ選舉掛ノ一人タリシ曾根原太喜彌ノ證明書ニ依リ選舉掛長ハ獨斷ヲ以テ投票セシメタリト申立ルモ其證明書ニ依レハ却テ選舉掛ノ面前ニ於テ委任狀ヲ示シタルコトヲ認ムルニ足ルヘク且選舉掛及ヒ選舉掛長共ニ異議ナク投票セシメタルモノニシテ曾根原太喜彌モ亦選舉錄ニ於テ選舉ノ正當ナルヲ證スルモノナレハ事後ニ至リ委任狀ニ心付カサリシト云フモ其事ノミヲ以テ選舉掛長カ獨斷ニ投票セシメタリト認ムルヲ得ス第三代人投票ノ如キ異例ノ事ハ選舉錄ニ記載セサルヘカラスルニ其頗末ヲ記録セサルハ違法ナリト云フト雖モ町村制第二十七條第一項ニ依レハ選舉掛ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ頗末ヲ記載スヘキコトヲ規定シアルモ其記載スヘキ事項ヲ限定シアラサレハ代人投票ノ事項ヲ記載セサルノ故ヲ以テ選舉ノ規定ニ違背シタリト云フヲ得

ス第四委任狀ノ如キ重要書類ハ選舉關係書類トシテ合綴保存スヘキ筈ナルニ之ヲ保存セサルハ町村制第二十七條第二項ニ違背セリト云フト雖モ町村制第二十七條第二項ハ投票ヲ保存スヘキノ規定ニシテ委任狀ヲ保存スヘキノ規定ニアラス而シテ町村制第二十四條第二項ニ依レハ代人ハ委任狀ヲ選舉掛ニ示シ代理ノ證トスヘシトアルヲ以テ之ヲ選舉掛ニ示シ既ニ其正當代人タルコトヲ證シタルトキハ必スシモ之ヲ留メ置カサルヘカラサルモノニアラサレハ委任狀ヲ保存セサルノ故ヲ以テ違法ナリト云フヲ得ス以上説明ノ如クナレハ高家村々會議員半數改選一級選舉會ハ規定ニ違背シタルモノニアラス從テ之ヲ取消スヘキ理由ナキモノトス

右ノ理由ナルヲ以テ裁決スル左ノ如シ

訴願人ノ申立相立タス

○行政裁判所判決

明治二十八年第五十三號
同年十一月二十七日宣告

判決要旨

- 一 選舉錄ニ於テ選舉ノ正當ニ結了シタルヲ證スル以上ハ事後隨意ニ作成シ得ヘキ證明書ヲ以テ之レカ反證ト爲スニ足ラス
- 一 町村制中代人投票ノ場合ニ於テ委任狀ヲ選舉關係書類トシテ保存スヘキノ規定ナキヲ以テ直チニ之ヲ代人ニ返付スルモ違法ニアラス
- 一 町村制中選舉錄ニハ選舉ノ顛末ヲ記録スヘシトノ規定アルモ其記載スヘキ事項ヲ明記シアラサルヲ以テ選舉錄ニ代人投票ノアリシコトヲ記載セサルモ違法ニアラス

裁判宣告書

原告

長野縣南安曇郡高家村三百六十番地
平民農

三原厚二

同縣同郡同村三百八十六番地平民農

宮澤文一

同縣同郡同村四百十二番地平民

訴訟代理人 宮澤高義

同縣同郡高家村々長

被告 竹内榮三郎

東京市日本橋區蛸殼町一丁目四番地

辯護士

訴訟代理人 岩岡伊代治

右原告三原厚二外一名ヨリ被告竹内榮三郎ニ對スル村會議員選舉取消ノ訴審

查テ遂クル處

原告陳述ノ要旨ハ明治二十八年四月一日ヲ以テ執行シタル長野縣南安曇郡
高家村々會議員一級選舉ニ際シ同村住民飯田總平ハ町村制第十二條第二項
ニ依リ選舉權ヲ有スル者ナルヲ以テ飯田伴十郎ヲ代人トシテ選舉ヲ行ハシ
メタリ因テ同人ハ總平ノ代理委任狀ヲ携帶シテ選舉場ニ臨ミ先ツ代人選舉
ノ投票ヲ爲シ次テ自身ノ投票ヲ爲シテ歸レリ然ルニ其委任狀ヲ選舉掛飯田
沖太郎ニ示シタルノミナリシヲ以テ選舉掛中宮澤榮治及ヒ曾根原太喜彌ノ
如キハ其當時代人選舉ノアリシヲ知ラス又飯田總平ノ委任狀ハ選舉關係書
類トシテ保存セス又選舉錄ニハ代人投票ノアリシコトヲ記載セス原告不服
ノ理由ハ町村制第二十四條第二項ニ據レハ非獨立ノ男子ニ代テ選舉投票ヲ
爲ス者ハ投票ノ前先ツ委任狀ヲ選舉掛ニ示サ、ル可カラス然ルニ伴十郎ハ
適法ニ委任狀ヲ示サスシテ總平ノ選舉權ヲ實行セリ是レ吾々カ該選舉ヲ以

テ違法ト爲シ取消スヘキモノナルコトヲ主張スル所以ナリ縣參事會ハ選舉掛ノ一人タリシ曾根原太喜彌ノ證明書ニ依リ選舉掛長ハ獨斷ヲ以テ投票セシメタリト原告ハ申立ツルモ其證明書ニ依レハ却テ選舉掛ノ面前ニ於テ委任狀ヲ示シタルコトヲ認ムルニ足ルヘク且選舉掛及選舉掛長共ニ異議ナク投票セシメタルモノニシテ曾根原太喜彌モ選舉錄ニ於テ選舉ノ正當ナルヲ證スルモノナレハ事後ニ至リ委任狀ニ心付カサリシト云フモ其事ノミヲ以テ選舉掛長カ獨斷ニ投票セシメタリト認ムルヲ得スト云フト雖モ是レ甚タシキ誤謬ノ説明ニシテ太喜彌ノ證明ニ依レハ伴十郎ハ或ル書面ヲ持シテ選舉場ニ入り之ヲ選舉掛ノ一人飯田沖太郎ニ示シタルニ過キスシテ當時伴十郎ノ持參セル書面ノ何タルヤハ太喜彌ノ毫モ辨知セサリシ所ナリトス而シテ伴十郎ハ引續テ又一票ノ投票ヲ行ヒタルヲ以テ始メテ伴十郎ノ投票ニ疑ヲ生シ其故ヲ選舉掛長ニ問フ所アリ掛長ノ説明ヲ得テ茲ニ伴十郎カ投票セ

シ先キノ一票ハ飯田總平ノ代人トシテノ投票ニシテ後ノ一票ハ自身ノ投票ナルコトヲ知り得タルモノナリ然カモ太喜彌カ掛長ノ説明ニ依テ代人投票アリシコトヲ知り得タルノ當時ハ既ニ伴十郎ノ退場セル後ナリシナリ縣參事會ハ抑々如何ナル點ヲ把束シテ以テ其證明書ニ依レハ却テ選舉掛ノ面前ニ於テ委任狀ヲ示シタルコトヲ認ムルニ足ル可シト爲スカ曾テ見サルノ書面ニ向テ面前ニ呈示シタリト云フヲ得ヘクハ縣參事會ノ説明或ハ然ラン然レトモ是レ豈ニ能クスヘキコトナランヤ且ヤ縣參事會カ太喜彌ノ證明ヲ以テ選舉掛及選舉掛長共ニ異議ナク投票セシメタルモノニシテ云々ト云フニ至リテハ更ニ一層ノ謬見ニ陷リタルヲ知ルニ足ル可シ何トナレハ選舉掛ナル太喜彌カ代人投票アリシコトヲ知りタルハ既ニ選舉投票後ノコトニシテ代人タル伴十郎ノ退場シテ選舉場ニ在ラサルノ時ニアルモノナレハ如何ノ其委任ノ件代人ノ事ニ就テ異議ヲ唱フルノ餘地アラシヤ是レ實ニ不可能

ノコトヲ以テ証ユルモノト云フヘキナリ加之縣參事會ハ選舉掛及選舉掛長
 共ニ異議ナク云々ト云フト雖元來選舉掛トハ其場ニ臨メル全體ノ選舉掛ヲ
 稱スルモノニシテ太喜彌ノ證明スルカ如ク單ニ飯田沖太郎ナル選舉掛ノ一
 人ニ示シタルヲ以テ選舉掛ナル汎稱ヲ與フルニ至テハ吾々ノ解スルニ苦シ
 ム所ナリトス且夫レ本訴新タニ加フル所ノ宮澤榮治ノ證明ニ依ルモ吾々ノ
 主張ヲ確ムルニ足ルモノアリ榮治ハ太喜彌等ト共ニ選舉掛ノ一人ナリ然ル
 ニ曾テ總平ノ代人タル伴十郎ヲ認メス又其委任狀ヲ知ラス伴十郎カ總平ノ
 代人トシテ投票ヲ以テ全ク伴十郎自身ノ投票ナリト思惟セリト云フニアラ
 スヤ太喜彌ト云ヒ榮治ト云ヒ選舉掛トシテ選舉場ニ臨メル者ニシテ既ニ斯
 ノ如シ尙且是レヲ以テ選舉掛ハ代人投票ヲ認メタルモノナリ代人投票ニ對
 シテ異議ナカリシト云フヲ得可キカ縣參事會カ曾根原太喜彌モ亦選舉錄ニ
 於テ選舉ノ正當ナルヲ證スルモノナレハ事後ニ至リ委任ニ心付カザリシト

云フモ其事ノミヲ以テ選舉掛長カ獨斷ニ投票セシメタリト認ムルヲ得スト
 云フカ如キモ亦頗ル解スヘカラサルノ說ナリト云ハサル可カラス蓋シ選舉
 錄ト選舉トハ自ラ別箇ノ問題ニ屬スルモノニシテ選舉掛ノ全體カ署名捺印
 シテ以テ選舉錄ニ正當ナルヲ證スルアリトスルモ未タ必シモ選舉ノ正當ニ
 行ハレタルヲ斷スル能ハサルナリ何トナレハ選舉掛ナル者ハ選舉ノ効力ニ
 向テ判定ヲ下スノ能力ヲ與ヘラレサルモノナレハ是故ニ選舉掛ナル者如何
 ニ選舉ノ正當ナルヲ證明スルコトアリトスルモ其選舉自體ニシテ違法ノモ
 ノナランニハ其選舉ハ當然無効ニ屬スヘキモノニシテ吾々選舉人ハ是レカ
 選舉ノ取消ヲ請求シ得ヘキモノナリ即チ本訴ニ於テ選舉掛長及選舉掛カ無
 効投票更ニ無之其正當ナルヲ證スル爲メ茲ニ署名捺印スト選舉錄ニ記載ス
 ルアリトスルモ未タ必シモ其選舉自體ノ完全ナルヲ證スルニ足ラサルナリ
 選舉掛悉ク明法家ナラス故ニ選舉自體ニシテ違法ナルコトアリトスルモ其違

法タルヲ知ラスシテ選舉錄ニ選舉ノ正當ナルコトヲ證スルコト無シトセス
 本訴曾根原太喜彌カ代人投票ノ行ハレタルヲ知リ而シテ元來其選舉ノ不當
 タルニモ係ラス選舉錄ニ署名捺印シタルモノ即チ此類ニシテ太喜彌ナル者
 ハ由來代人投票ノ場合ニ於ケル制規ヲ辨セサリシモノナリト云ハサル可カ
 ラス若シ夫レ然ラストナラハ何爲ソ選舉錄ニ捺印セシヤ宮澤榮治モ亦太喜
 彌沖太郎等ト共ニ選舉掛ナリ而シテ他ノ選舉掛ト共ニ選舉錄ニ捺印セリ然
 ルニ榮治ノ云フ所ニ依レハ榮治ハ選舉ノ當時ニ於テ毫モ代人投票ノアリシ
 ヲ知ラス後ニ至リテ始メテ其事ヲ知リタルモノナリ去レハ榮治ハ毫モ代人
 投票ノアリシヲ知ラスシテ選舉錄ニ署名捺印セルモノト云ハサル可カラス
 斯ノ如キノ選舉斯ノ如キノ署名捺印是レ豈ニ其効ヲ有スルモノナランヤ是
 レ實ニ選舉自體ト選舉錄トハ全然同一ナラサル所以ナリトス又委任狀ナル
 モノハ一般ノ原則トシテ對手人ニ交附スヘキモノナレハ町村制ニ假令明記

ナシトスルモ是ヲ關係書類トシテ保存スヘキモノナリト解釋スルコト至當
 ナリト云ハサル可カラス况ンヤ其効力ノ點ニ於テ敢テ投票ニ讓ル所ナキニ
 於テヤ若シ夫レ吾々ノ如キ解釋ヲナシタランニハ本訴ノ如キ條チニシテ
 氷解スルニ至ラン然レトモ委任狀ノ保存ナルモノハ元來選舉執行後ニ屬ス
 ルコトニシテ選舉自體ト自カラ別箇ニ屬スルモノナレハ吾々ハ強テ是ヲ主
 張セントスルモノニアラス已ムナクハ唯法文ノ不備トシテ歎センノミ又
 町村制第二十七條第一項ノ選舉ノ顛末トハ如何ナルコトナルヤ法文上其眞
 意ヲ知ルニ苦シム所ナリト雖代人選舉ノ如キハ稀ニ有ルコトナレハ是ヲ記
 録シテ以テ後日ニ備フルハ普通人ノ解釋シ得ヘキ所ナリトス然レトモ斯ク
 解釋スルト否トハ行政命令又ハ判決例ニ依テ定マルヘキコトナレハ吾々ハ
 亦強テ其違法ナルヲ主張セスト雖若シ吾々ノ解釋ニシテ法文ノ精神ヲ得タ
 ルモノナリトセンカ本訴ノ如キハ其曲直ヲ判スル易々タルノミ即チ宮澤榮

治カ代人投票ノアリシヲ知ラスシテ選舉錄ニ署名捺印シタルハ主トシテ其事ノ選舉錄ニ記載無カリシニ原因スルモノニシテ若シ選舉錄ニ其事ノ記載セラレアラシニハ榮治ハ決シテ署名捺印セザリシナラントハ榮治ノ證ニ依テ充分ニ推定スルヲ得ヘキナリ然レトモ是レ亦選舉執行後ニ屬スルコトニシテ選舉自體ト自カラ別箇ノモノナレハ本訴ノ主要トシテ是レヲ維持セス右ノ理由ナルニ依リ縣參事會ノ裁決ニ服スルヲ得ス依テ明治二十八年四月一日ヲ以テ執行シタル長野縣南安曇郡高家村々會議員半數改選ノ一級選舉ヲ取消シ更ニ適法ノ選舉ヲ執行スヘシトノ判決ヲ請フト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ明治二十八年四月一日ヲ以テ執行シタル長野縣南安曇郡高家村々會議員一級選舉ニ際シ本村飯田伴十郎ハ町村制第十二條第二項ニ依リ選舉權ヲ有スル飯田總平ノ代理選舉ノ委任狀ヲ携帶入場シテ同人ノ代人選舉ヲ行ヒタキ旨選舉掛長ニ申立ツルニヨリ掛長ハ該委任狀ヲ選舉掛ニ

示スヘキ旨ヲ申渡シタリ即チ伴十郎ハ選舉掛ノ末席ナリシ松尾太源治ニ該委任狀ヲ差出シタルヲ以テ同人ハ次席ナル曾根原太喜彌ニ同ハシ同人ハ其次席ナル飯田沖太郎ニ同ハシ同人ハ又其次席ナル宮澤榮治ニ同ハシタリ斯クテ掛長ハ此ノ如ク四名ノ選舉掛各々同覽熟視シタルヲ認ムルニヨリ伴十郎ニ投票用紙ヲ與ヘ而シテ伴十郎カ投票ヲ作り差出シタルヲ以テ掛長ハ之ヲ受理シ投票函ニ收メタリ此時伴十郎ハ委任狀ヲ選舉係宮澤榮治ヨリ受取リ次ニ自己ノ投票ヲ爲シタキ旨申立ツルニヨリ例ニ依テ之ヲ受理シ伴十郎ハ退場シタリ又伴十郎カ携帶提示シタル飯田總平ノ委任狀ハ選舉掛長及選舉掛一同普熟覽明認シタリ而シテ該委任狀ハ選舉掛ニ於テ伴十郎へ返付シタルニヨリ選舉關係書類ニ合綴セス又選舉錄ニハ代人投票ノアリシコトハ略シテ記サス又選舉ノ投票ヲ了リ投票函ヲ開キ選舉掛長選舉掛一同ト共ニ先ツ投票ノ數ヲ精算シ投票ヲ開封シ點數ヲ調査シ選舉錄ヲ製シテ之ヲ朗讀

シタルニ何人モ一ノ故障異議ヲ稱フルモノナク皆記名調印シタリ然ルニ原告ハ選舉掛ノ一名ナル曾根原太喜彌ノ證明書ヲ以テ論據ノ鐵壁トナシ飯田伴十郎ハ飯田總平ノ委任狀ヲ適法ニ選舉掛ニ示サス又其委任狀ハ或ル一種ノ書面ニシテ果シテ委任狀ナリシヤ否ヤ判明セズト主張スルモ原告カ自ら提供スル明治二十八年四月六日付ヲ以テ被告カ證明ヲ與ヘタル宮澤輔太郎外二名等ノ代人選舉ノ事實證明出願書並ニ同月十六日付ヲ以テ下附シタル本件選舉ノ選舉錄及點數簿ノ謄本ニ徴シテ毫モ原告所論ノ取ルヘキモノナシ而レトモ曾根原太喜彌ハ選舉掛トシテ出席中飯田伴十郎ノ提示シタル委任狀及其代人投票ヲ行フノ際ニ於テ曾テ一片ノ異議タモ提出シタルコトナク又選舉錄調製ノ際共ニ之ヲ調製シテ自ら記名捺印シタルニ曾テ一片ノ異議ヲ稱ヘタルコトナカリシモノナルニ選舉結了後本件訴願ノ提起前即チ本年四月四日ヲ以テ原告ハ提供スル證明書成リタリトハ抑々實ニ不可思議ノ

事タリ即チ該證明書ノ前文ニ代人投票ヲ行ヘタル情況證明ノ儀御申出ニヨリ左記ノ通り證明云々トアルヲ以テ見レハ定メテ是レ原告等カ利益ノ爲メニ故ヲニ作成シタル書面ナリト認ムルヲ得ヘシ又宮澤榮治モ亦均シク選舉掛ノ一名ニシテ曾根原太喜彌其他ノ二名ト共ニ選舉掛トシテ出席中飯田伴十郎カ提示シタル委任狀ヲ熟覽シ代人投票ヲ了ハルマテ曾テ異論ヲ稱ヘタルコトナク又選舉錄ヲ共ニ調製シテ捺印シタルモ曾テ何等ノ故障異議ヲ稱ヘタルコトナカリシモノナルニ原告カ本訴提起ノ準備中即チ本年七月一日ヲ以テ原告カ提供セル證明書ノ成リタルカ如キモ是レ亦曾根原太喜彌カ爲シタル證明ノ類ニ異ナラサルモノト認ムヘキナリ又飯田伴十郎カ持參シタル飯田總平ノ委任狀ハ選舉掛一同熟覽ヲ了シ後日ノ保存ニ必要ナキヲ認メ之レヲ返付シタリ是レ町村制ニ委任狀ヲ保存シ置クヘキ明文ナク且之レヲ保存セサルモ選舉ノ効力ニ何等ノ影響ヲモ及ホサルナリ又選舉錄ニ代人

選舉ノ事項ヲ記載セサルハ代人選舉ノ場合ニ於テ其順序行爲等更ニ記スヘキ事體ナク即チ選舉掛各自ハ此事項ヲ記載スルノ必要ナキヲ認メ選舉録調製ニ當リ之レヲ省略シタルモノニシテ敢テ町村制ノ規定ニ背反シタル點ナキモノナリ以上陳述ノ如ク曾根原太喜彌宮澤榮治兩人ノ證明書ハ原告ノ利益ノ爲メニ後日ノ作成ニ係ルモノナレハ本訴ノ證據タルヘキ資格ヲ有セス又原告カ所論ノ如キハ本訴提起ノ上ニ於テ正ニ一箇ノ價值ヲ有セス其他本件選舉ノ全般皆是レ町村制ノ規定ニ違背シタル不法ノ點ナキニ依リ原告ノ訴求相立タストノ判決ヲ請フト云フニ在リ

依テ證據ヲ閱シ理由ヲ説明スル左ノ如シ

原告ハ飯田總平ノ代人タル飯田伴十郎カ適法ニ委任狀ヲ示サスシテ選舉ヲ行フタル事實ハ宮澤榮治曾根原太喜彌等ノ證明書ニ依リ明瞭ナリト云フト雖本件高家村々會議員一級選舉ハ正當ニ結了シタルコトハ其選舉録ニ徴シテ明カ

ナルノミナラス宮澤榮治曾根原太喜彌等ノ證明書ノ如キハ隨意ニ之ヲ作成シ得可キモノナレハ原告主張ノ事實ヲ證明スルノ効力ナキモノトス又原告ハ飯田總平ノ委任狀ハ選舉關係書類トシテ保存ス可キモノナリト云フト雖町村制中之レヲ保存スヘキノ規定ナキヲ以テ被告ニ於テ其委任狀ヲ飯田伴十郎ニ返付シタルモ之ヲ以テ違法ナリト云フト得ス又原告ハ選舉録ニ代人投票ノアリシコトヲ記載セサルハ違法ナリト云フト雖町村制中選舉録ニハ選舉ノ顛末ヲ記錄スヘシトノ規定アルモ其記載スヘキ事項ヲ明記シアラサルヲ以テ代人投票ノアリシコトヲ記載セサルノ故ヲ以テ法律規定ニ背反シタルモノト云フト得ス

右ノ理由ナルニ依リ判決スル左ノ如シ

原告ノ請求相立タス

訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

(三) 村會議員選舉取消處分ニ關スル件 明治二十八年七月十八日裁決

裁 決 要 旨

一 村會議員選舉ノ効力ニ關シ定規ニ違背スルモノト爲シ郡長カ選舉取消ノ處分ヲ爲シタルモノニ對シテハ縣參事會ニ訴願スルコトヲ得ス

(參照) 町村長ハ選舉ヲ終リタル後之ヲ郡長ニ報告シ郡長ニ於テ選舉ノ効力ニ關シ異議アルトキハ訴願ノ有無ニ拘ハラズ郡參事會ニ付シテ處分ヲ行フコトヲ得、選舉ノ定規ニ違背スルコトアルトキハ其選舉ヲ取消シ又被選舉人中其資格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ其人ノ當選ヲ取消シ更ニ選舉ヲ行ハシム可シ 町村制第二項第九條第二項第十項 此法律中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外凡町村ノ行政ニ關スル郡長若クハ郡參事會ノ處分若クハ裁決ニ不服アル者ハ府縣知

事若クハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣知事若クハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得 町村制第二百一十條第一項

裁 決 書

下水内郡水内村千八番地平民農

訴願者 月 岡 恒 勇

外 一 名

右訴願ノ要領ハ明治二十八年四月二十八日下水内郡水内村ニ於テ執行シタル同村々會議員半數改選々舉會ハ適法ニシテ有効ナルニ下水内郡長カ町村制第十九條第一項同第二十七條第一項ニ背キタリトシ該選舉ヲ取消シタルハ不當ナルニ付該處分ノ取消ヲ請求スト云フニアレトモ法律勅令中右郡長ノ處分ニ對シテハ縣參事會ニ訴願ヲ許スノ規定ナキニ依リ訴願法第九條ニ從ヒ之ヲ却

(四) 村會議員選舉取消ニ關スル件 明治二十八年十月七日裁決

裁 決 要 旨

一 助役ハ村長在任中ト雖モ事務ヲ代理シ得ヘキヲ以テ選舉人名簿ノ貼紙ニ助役ノ職印ヲ押捺シアリ且ツ村長ハ該名簿縱覽期日前ニ拘留セラレタルモ名簿確定後ニ至リ助役力擅ニ之ヲ更訂シタルモノナリト云フヲ得ス

(參照) 選舉人名簿ハ七日間町村役場ニ於テ之ヲ關係者ノ縱覽ニ供ス可シ若シ關係者ニ於テ訴願セントスルコトアルトキハ同期限内ニ之ヲ町村長ニ申立ツ可シ町村長ハ町村會ノ裁決ニ依リ名簿ヲ修正ス可キトキハ選舉前十日ヲ限リテ之ニ修正ヲ加ヘテ確定名簿

トナシ之ニ登録セラレサル者ハ何人タリトモ選舉ニ關スルコトヲ得ス 町村制第十條第二項 助役ハ町村長故障アルトキ之ヲ代理ス 町村制第七條第三項

裁 決 書

南安曇郡温村三百三拾三番地

訴願者 濱 村 次 郎

外 二 名

右訴願ノ要領ハ明治二十八年四月南安曇郡温村々會議員半數改選及補欠選舉ヲ無効トシ南安曇郡參事會ニ訴願シタルニ二級選舉及二級補欠選舉ヲ無効トスルニ止マリ訴願ノ一部タル選舉人名簿確定後選舉人ヲ追加登載シタル名簿ノ正否ニ關シテ裁決ヲ與ヘス從テ一級選舉ヲ有効トナシタルヲ不當トシテ本縣參事會ニ提出シタルモノナリ

訴願者申立ノ理由トスル所ハ選舉人名簿確定後選舉人中村嘉源次外六名ヲ追加登載シ一二兩級ノ區分ヲモ俱ニ貼紙ヲナシテ變更シ貼紙ニ助役ノ職印ヲ押捺セリ村會ハ名簿確定後ニ貼紙ヲナシタルニアラスト辯解スレトモ縦覽前ニ更訂シタランニハ何故村長ノ職印ヲ押捺セサリシ村長ハ三月二十五日夜警察署ニ拘留セラレ其翌二十六日ヨリ名簿ヲ縦覽ニ供シタルモノナレハ助役ノ職印ヲ押捺セシハ名簿確定後ニ於テ追加登載シタルヲ證スルニ足ル斯ル無効ノ名簿ニ據リテ行ヒタル選舉ハ獨リ二級ノミナラス一級選舉モ無効ナリト云フニアリ

依テ本縣參事會ハ町村制第三十七條ニ依リ之ヲ受理シ審査スル左ノ如シ
 訴願者ハ名簿確定後縱マ、ニ選舉人七名ヲ追加登載シタリトシ名簿ノ貼紙ニ助役ノ職印ヲ押捺シアルハ名簿縦覽前村長カ拘留セラレタルニ依リ縦覽前名簿ヲ更訂シタランニハ村長ノ職印ヲ押捺セサル可カラサルニ否ラサルハ即チ

名簿確定後ノ所爲ナリト云フト雖モ助役ハ村長ノ事務ヲ代理シ得ヘキモノニシテ村長在任中ト雖モ其事務ヲ代理スルコトアルヲ以テ貼紙ニ助役ノ職印ヲ用非更訂シアリトスルモ名簿縦覽前ニ更訂シタルモノニアラスト云フヲ得サルノミナラス其更訂ハ村長拘留後即チ名簿確定後ノ所爲ナリトノ證據トナスニ足ラス從テ該名簿ヲ無効トスルノ理由ナキヲ以テ一級選舉ハ有効ナリトス右ノ理由ナルニ依リ裁決スルコト左ノ如シ
 訴願者ノ申立相立タス

(五)

村會議員選舉ノ効力ニ關スル件 明治二十八年十月七日裁決

裁ト決 要 旨

- 一 選舉人名簿ニ無資格者ヲ登錄シ爲メニ選舉セシメタルモ當選ノ結果ニ異動ヲ及ボサ、ル以上ハ其選舉ハ有効ナリトス

一 選舉人名簿中氏名ニ誤字アルモ其誤謬タルコト明瞭ナルニ於テハ名簿ニ登録セサル者ト云フヲ得ス

(參照) 選舉人名簿ハ七日間町村役場ニ於テ之ヲ關係者ノ縦覽ニ供ス可シ若シ關係者ニ於テ訴願セントスルコトアルトキハ同期限内ニ之ヲ町村長ニ申立ツ可シ町村長ハ町村會ノ裁決ニ依リ名簿ヲ修正ス可キトキハ選舉前十日ヲ限リテ之ニ修正ヲ加ヘテ確定名簿トナシ之ニ登録セラレサル者ハ何人タリトモ選舉ニ關スルコトヲ得ス 町村制第十
八條第二項

裁 決 書

南安曇郡温村々長

訴願者 小穴 字門太

右訴願ノ要領ハ明治二十八年四月南安曇郡温村々會議員半數改選及補欠選舉

ノ効力ニ關シ濱村次郎外二名ノ訴願ニ對シ南安曇郡參事會カ二級選舉及二級補欠選舉ヲ無効ト裁決シタルヲ不當トシ本縣參事會ニ提出シタルモノナリ

訴願者申立ノ理由トスル所ハ郡參事會カ無資格者藤森嘉久太郎ノ爲シタル投票ハ何人ノ得點ニ歸シタルカ知ルニ由ナキヲ以テ該二級選舉ハ有効ニ當選ノ効果ヲ生セスト裁決シタルハ事實ヲ究メサル偏頗ノ議論ニシテ該選舉ニ於ケル當選者ノ最下點ハ百三十五點ニシテ之ニ對スル次點者ノ最高點ハ九十一點ナリ補欠ニ於ケル當選者ハ百三十五點ニシテ之ニ對スル次點者ハ八十點ナレハ無資格者タル藤森嘉久太郎ノ爲シタル投票ハ何人ノ得點ニ歸シタルカ知ルヲ得スト雖モ此一票ノ爲メ當選者ニ異動ヲ生セス選舉全般ニ些ノ影響ヲ及ホスコトナキヲ以テ無効ノ選舉トナスヘキモノニアラス又郡參事會ハ選舉人名簿ニ登録ナキ青木多平次ヲシテ選舉ヲ施行セシメタルハ選舉ノ規定ニ違背セリト裁決シタレトモ青木多平次ハ選舉人名簿ニ姓ヲ青

柳ト誤記セラレタルマテニテ青木多平次ヨリ訴願ヲ爲シ名簿修正ノ要求ヲ
ナサ、ルモ選舉權ヲ失フ理ナク假令名簿ニ登錄セラレサルモノトスルモ其
投票ニ限り無効トナルニ止マル可クシテ之カ爲メ選舉會ヲ無効トナスヘキ
モノニアラスト云フニ在リ

依テ本縣參事會ハ町村制第三十七條ニ依リ之ヲ受理シ審査スル左ノ如シ
藤森嘉久太郎カ無資格者ナリトハ選舉人名簿縱覽中何人モ之ヲ覺知セス選舉
執行後ニ至テ之ヲ發見シタルモノニシテ同人ヲシテ選舉ニ參與セシメタルハ
誤謬ニ出テタリト雖モ此誤謬タルヤ當選ノ結果ニ異動ヲ生スル所ナク又選舉
人名簿ニ青柳多平次トアルハ他ニ類似ノモノナク青木多平次ノ誤記ナルコト
明ナル以上ハ名簿ニ登錄ナキ青木多平次ヲシテ投票セシメタリト云フヲ得ス
要スルニ選舉ノ定規ニ違背セサルヲ以テ該選舉ハ有効ナリトス
右ノ理由ナルニ依リ裁決スル左ノ如シ

南安曇郡參事會ノ裁決ヲ取消ス

(六)

村會議員選舉取消ニ關スル件 明治二十八年十一月四日裁決

裁 決 要 旨

- 一 被選舉人ノ何人タルヤヲ確認シ得ヘキ様投票ニ記載スルハ選舉
人ニ屬スル責任ナルヲ以テ選舉掛カ選舉人ニ對シ投票ノ記載方
ヲ指示セサリシトテ違法ニアラス
- 一 選舉錄ニ記載シタル事項ニ關シ反對ノ事實ヲ主張セントスルト
キハ之レカ確證ヲ要ス

裁 決 書

長野縣小縣郡丸子村平民

訴願人 鈴木源次郎

右訴願ノ要領ハ明治二十八年四月十七日執行シタル小縣郡九子村々會議員二級選舉會ヲ違法トシ之レカ取消ヲ請求スルモノニシテ小縣郡參事會ニ於テ訴願人ノ請求相立たスト裁決シタルニ服セス本縣參事會ニ提起シタルモノナリ訴願人理由トスル所ノ要旨ハ第一訴願人ハ選舉ノ當日會場ニ至リ同姓名ノ被選人二名中一人ヲ投票スルノ記載方ヲ選舉掛ニ質問シタル處選舉掛ハ之ヲ指示セサルニ依リ姓名ノミニテ可ナラント思惟シ單ニ姓名ノミ記載投票シタルニ選舉掛ハ之ヲ無効トナセリ之レ選舉掛カ選舉取締ノ義務ニ背キ選舉人ヲ誘導シテ無効投票ヲ爲サシメタルト同一ナレハ其選舉ハ違法ナリ第二選舉錄ハ選舉ノ事實ヲ記載スルモノニシテ町村制ニ於テ之レカ朗讀ヲ命シタルハ選舉人ヲシテ選舉錄ニ誤謬ナキヤ否ヲ監督セシムルカ爲メナリ然ルニ本件二級選舉會ノ選舉錄ハ二級選舉人ノ面前ニ於テ朗讀セラレス一級選舉開會ニ至リ朗讀セラレタルヲ以テ二級選舉人ヲシテ之ヲ監督スルヲ得

サラシメタリ之レ選舉ノ定規ニ違背シタルモノニシテ其選舉會ハ取消スヘキモノナリ依テ小縣郡參事會ノ裁決ヲ取消シ更ニ二級選舉會ハ之ヲ取消ストノ裁決ヲ請フト云フニ在リ

依テ本縣參事會ハ町村制第三十七條ニ依リ之ヲ受理シ審査スル左ノ如シ訴願人ニ於テ第一同姓名ノ被選舉人二人中其一人ヲ投票スルノ記載方ヲ選舉掛ニ質問シタル處之ヲ指示セサルヲ以テ單ニ姓名ノミヲ記載投票シタルニ選舉掛カ其投票ヲ無効ト爲シタルハ違法ナリト云フト雖モ選舉人カ投票ヲ爲スニ當リ其選舉シタル被選舉人ハ何人ナルヤヲ確認シ得ヘキ様記載スルハ投票者自己ニ屬スル責務ニシテ選舉掛ハ之レカ記載方ヲ指示スヘキ義務アルモノニアラス故ニ投票點檢ニ際シ選舉掛カ其投票ヲ無効ト決定スルモ之ヲ指示セザリシノ故ヲ以テ違法ナリト云フヲ得ス第二二級選舉會ノ選舉錄ハ二級選舉人ノ面前ニ於テ朗讀セララルヘキニ一級選舉開會ニ至リ朗讀セラレタルハ選舉

ノ定規ニ違背シタルモノニシテ其選舉會ハ無効トスヘキモノナリト云フト雖
 モ其選舉錄ニハ選舉人ノ面前ニ於テ朗讀ストアリテ當時正當ニ成立シアル以
 上ハ事後ニ至リ一級選舉開會ニ至リ之ヲ朗讀シタリト云フモ其事實ヲ認ムル
 ニ由ナキノミナラス選舉錄ノ朗讀ハ之ヲ調製スルニ付キ爲スヘキ一ノ手續ニ
 過キスシテ選舉會其者ニ對スル規定ニアラサレハ之ヲ以テ選舉ノ定規ニ違背
 シタリト云フヲ得ス
 右ノ理由ナルヲ以テ裁決スル左ノ如シ
 訴願人ノ申立相立タス

(七)

村會議員選舉取消ニ關スル件 明治二十八年十
一月五日裁決

裁 決 要 旨

一 選舉錄ニ於テ選舉ノ正當ニ結了シタルヲ證スル以上ハ事後隨意ニ

作成シ得ヘキ證明書ヲ以テ之レカ反證ト爲スニ足ラス

(參照)

選舉掛ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記錄シ選舉ヲ終リタル後
 之ヲ朗讀シ選舉人名簿其他關係書類ヲ合綴シテ之ニ署名ス可シ

町村制第二十
七條第一項

裁 決 書

長野縣北佐久郡三井村平民

中澤順作外拾七名惣代

訴願人 中澤順作

外一名

右訴願ノ要領ハ明治二十八年四月十五日執行シタル北佐久郡三井村々會議員
 半數改選々舉會ハ二級及ヒ一級選舉トモ選舉ノ定規ニ違背セルモノトシ之レ

カ全部ノ取消ヲ請求スルモノニシテ北佐久郡參事會ニ於テ該選舉ハ取消スヘキモノニアラスト裁決シタルニ服セス本縣參事會ニ提起シタルモノナリ

訴願人理由トスル所ノ要旨ハ二級選舉人小島重兵衛及ヒ柳澤清吉ハ自身投票セス其子小島彦作及柳澤常吉ナル者各父ノ代人トシテ出頭選舉シタルコトハ本人常吉ノ證明并ニ二級選舉人神津永吉神津乙一ノ證明ニ依リ明カナリ又一級選舉人小林銓吉ハ町村制第十二條第二項ニ依リ選舉權ヲ有スルモ獨立ノ男子ニアラサルヲ以テ同制第二十四條第二項ニ依リ必ス代人ヲ以テ選舉ヲ行フヘキ筈ナルニ自身出頭シテ投票ヲ爲シ加フルニ他人ノ代理マテ爲シタルコトハ一級選舉人中澤又左衛門中澤光作小平長左衛門等ノ證明及ヒ區會議員神津乙一ノ證明ニ依リ明カニシテ之レハ町村制第二十四條第一項ノ定規ニ違背シ一ハ同條第二項ノ定規ニ違背シタル不法ノ選舉會ナレハ孰レモ無効トスヘキモノナルニ北佐久郡參事會ニ於テ事後ニ至リ投票者自ラ證明ヲ爲スモ之レヲ以テ選舉當時ノ事實ヲ證スルモノト爲スヲ得ストシタルハ不當ナリ又訴願ノ要旨ハ選舉ノ定規ニ違背シタル選舉會ニ付之レカ全部ノ取消ヲ請求シタルモノナルニ郡參事會ハ當選者ノ得點數ト落選者ノ得點數トノ多少ヲ比較シ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサルヲ以テ之ヲ取消スヘキモノニアラストシタルハ訴願ノ要領ヲ失ヒタル不當ノ裁決ナリ且訴願人ニ於テ選舉ノ翌日役場へ出頭シ選舉錄及ヒ附屬書類ノ閱覽ヲ願出タルニ助役ニ於テ村長不在ニ付見當ラストテ之ヲ許サス更ニ明治二十八年四月二十日出頭ノ上閱覽ヲ求メタルニ期限經過ニ付之ヲ許サストテ終ニ一覽スルコトヲ得サリシ之等ノ事實ヨリ見レハ選舉ニ關スル書類ハ其當時之ヲ調製セス後日ニ至リ之ヲ作爲シタルモノト認メサルヲ得ス從テ其選舉ハ不法タルヲ免レサルナリ依テ郡參事會ノ裁決ヲ取消シ更ニ本件選舉會ハ全部ヲ取消ストノ裁決ヲ請フト云フニ在リ

依テ本縣參事會ハ町村制第三十七條ニ依リ之ヲ受理シ審査スル左ノ如シ
 本件訴願ノ要點ハ二級選舉會ニ於テ其選舉人中代人ヲ以テ投票シタル事實アリヤ否又一級選舉會ニ於テ必ス代人ヲ以テ投票スヘキ選舉人カ自身投票シ且ツ他人ノ代理迄爲シタル事實アリヤ否ヲ究ムルニ在リトス而シテ訴願人ハ是等ノ事實アリタルコトハ投票者本人ノ證明及他選舉人ノ證明ニ依リ明カナルニ北佐久郡參事會ニ於テ之レ等ノ證明ハ選舉當時ノ事實ヲ記スルモノト爲スヲ得ストシタルハ不當ナリト云フト雖モ凡ソ選舉會場ニ於テハ選舉掛及ヒ選舉掛長立會シ投票人ハ其面前ニ於テ自己ノ氏名及ヒ住所ヲ掛長ニ申立掛長ハ選舉人名簿ニ照シテ投票ヲ受ケ又代人投票ニ係ルトキハ其代人ハ委任狀ヲ選舉掛ニ示シテ代理ノ證トスル等總テ法律ニ規定アル式ヲ履ミ之ヲ執行スルモノニシテ即チ該選舉ハ其選舉錄ニ於テ選舉掛及選舉掛長連署ノ上選舉ノ正當ナルヲ證シアルヲ以テ見レハ當時何等ノ異議モナク合法ノ式ヲ經テ選舉ヲ終

リタルモノナレハ若シ其終リタル後ニ至リ選舉無効ノ原因アリト申立ルモノハ之レカ事實ヲ證スヘキ確乎タル證據ナカルヘカラス然ルニ投票者自身ノ證明及該選舉人ノ證明ヲ以テ自身選舉ヲ行フヘキ者カ代人ヲ以テ投票シ又必ス代人ヲ以テ選舉ヲ行フヘキ者カ自身投票シタル事實アリト申立ルモ是等ノ證明ハ事後隨意ニ作爲シ得ヘキモノナレハ單ニ是等ノ證明ノミヲ以テ其事實アリト認ムルヲ得ス既ニ其事實アリト認メ難キ以上ハ本件選舉會ハ違法トスヘキモノニアラサルヲ以テ之ヲ取消スヘキ理由ナキモノトス其他訴願人ニ於テ申立ツル所アルモ必要ナキヲ以テ説明セス
 右ノ理由ナルヲ以テ裁決スル左ノ如シ
 訴願人ノ申立相立タス

第七 町村會並ニ區會議決ニ關スル件

(一) 區會議決取消ニ關スル件 明治二十八年六月八日裁決

裁 決 要 旨

一 町村ノ行政ニ關スル郡參事會ノ裁決ニ對シ縣參事會ニ訴願セシトスルトキハ裁決書ヲ交付シタル日ヨリ十四日以内ノ期間ニ於テ之ヲ申立サル可ラス

(參照) 町村長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ一町村會ヲ準備シ及其議決ヲ執行スル事若シ町村會ノ議決其權限ヲ越エ法律命令ニ背キ又ハ公衆ノ利益ヲ害スト認ムルトキハ町村長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ議決ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議セシメ猶其議決ヲ更メサルトキハ郡參事會ノ裁決ヲ請フ可シ其權限ヲ越エ又ハ法律勅令ニ背クニ依テ議決ノ執行ヲ停止シタル場合ニ於テ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得 町村制第六十條第二項 町村ノ行政ニ關スル訴願ハ

處分書若クハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ十四日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出ス可シ但此法律中別ニ期限ヲ定ムルモノハ此限りニ在ラス 町村制第百二十條第二項

裁 決 書

長野縣小縣郡鹽川村

鹽川區會議長

訴願人 堀 内 啓 十

右訴願ノ要領ハ鹽川村長ノ提出シタル明治二十七年年度鹽川村鹽川區費歲入出追加豫算案ハ法律ニ違背セルモノトシ同區會ニ於テ之ヲ否決シタルヲ以テ更ニ再議ニ付セラレタルモ猶其議決ヲ更メサリシニ付鹽川村長ハ町村制第六十八條ニ依リ小縣郡參事會ノ裁決ヲ請求シタルニ同郡參事會ニ於テ村長提出ノ

議案ヲ以テ豫算トスト裁決シタルヲ不當トシ之レカ取消ヲ請求スルモノニシテ明治二十八年五月二十七日ヲ以テ之レカ訴願ヲ本縣參事會ニ提起シタルモノナリ然ルニ鹽川村長ノ裁決請求ニ對シ郡參事會カ與ヘタル裁決書ノ交付ハ全年五月十三日ナレハ同日ヨリ起算シ五月二十六日迄ノ十四日間内ニ訴願スヘキ筈ナルニ五月二十七日ニ至リ之ヲ提起シタルハ既ニ町村制第二百十條第二項ノ期限ヲ失シタルモノトス依テ本訴願ハ之ヲ却下ス

第八 水利組合費ニ關スル件

(一) 水利組合費賦課更正ニ關スル件 明治二十八年四月十七日裁決

裁 決 要 旨

一 水利組合規約ハ監督官廳ノ認可ヲ經テ確定シタルモノナレハ該組合管理者ハ右規約ノ改正アラサル以上ハ其規約ニ規定シタル

課率ノ割合ニ依リ組合區域内ノ者ニ對シ組合費ヲ賦課スルハ至當ナリトス

一 水利組合費賦課ノ不當ニ服セス之レカ更正ヲ求メントスルモノハ水利組合條例第四十六條ニ依リ訴願ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

(參照)

此法律中別段ノ規定アルモノ、外管理者ノ處分ニ不服アル者ハ組合所在地ノ郡參事會ニ訴願シ郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得其組合ノ區域郡市又ハ數郡ニ渉ル場合ニ於テ管理者ノ處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得 水利組合條例第一項 本組合費ハ左ノ定率ニ依リ各區ニ分割シ各區内ノ段別ニ賦課シ家用ニ供スル者ヨリハ特ニ使用料ヲ徵收ス 瀧ノ湯堰普通水利組合規約第十五條

裁 決 書

百二十一

長野縣諏訪郡湖東村二百三十番地
平民農

訴願人 保科仙右衛門

外二拾三名

右惣代

同縣同郡同村二百三拾番地平民農

保 科 勘 助

外 二 名

右訴願ノ要求ハ長野縣諏訪郡瀧ノ湯堰普通水利組合費賦課ニ關シ湖東村金山
區ニ對スル明治二十六年賦課ノ更正ヲ求ムルニ在リテ其理由ノ要旨ハ金山
區ニハ古來北山村芹澤區ト共同ナル字角明埜ト稱スル田飲兩用ニ充ツヘキ用
水堰アリテ之ヲ利用シ毫モ他ノ用水ヲ仰カサリシカ天明年間ニ至リ瀧ノ湯堰

ノ開鑿アルニ當リ金山區内一部分ノ爲メ之レニ加名シ其部分ニ使用セシ殘餘
ヲシテ僅カニ角明埜ニ合流セシメ初メテ混同水トテリ金山區全般ノ使用ニ充
テ來リシニ明治二十六年賦課令狀ニ依レハ訴願人等ノ所有反
別ニ對シ瀧ノ湯堰全水使用者ノ反別ト同額ノ負擔ヲ以テセルハ過重ノ義務ニ
シテ利益ノ厚薄ニ從ヒ義務ニ輕重アルヘキハ一般ノ道理ナルノミナラス現ニ
同一組合ノ内北山村芹澤區其他ニ於テモ混同水使用ノ部分ハ確然負擔ノ義務
ニ輕重差等ヲ附シアルニ獨リ金山區ニ限リ之等ノ區別ヲ立テサルハ失當ノ賦
課タルヲ免レス依テ之カ更正ヲ諏訪郡參事會ニ訴願シタルニ郡參事會ハ本訴
願ハ賦課率變更ノ裁決ヲ請フモノニシテ賦課率ヲ變更スルハ組合規約ノ變更
ヲ請フモノナリ而シテ組合規約ノ變更ヲ求ムルノ訴願ハ提起スルヲ得ストシ
之ヲ排斥シタルハ不當ニ付更ニ至當ノ裁決ヲ請フト云フニ在リ
依テ本縣參事會ハ水利組合條例第四十六條ニ依リ之ヲ受理シ審査ヲ遂クル處

百二十一

本件訴願ノ要旨ハ瀧ノ湯堰普通水利組合費賦課ニ關シ湖東村金山區明治二十六年度ノ賦課ニ服セス其賦課ノ更正ヲ管理者ニ求ムルニ在ルヲ以テ水利組合條例第四十六條ニ依リ訴願ヲ爲シ得ヘキモノナレハ諏訪郡參事會カ本件ハ賦課率變更ノ裁決ヲ請フモノニシテ賦課率ヲ變更セシムルハ組合規約ヲ更正セサルヘカラス而シテ組合規約ヲ變更スルノ訴願ハ法律勅令中之ヲ提起シ得ルノ規定ナキニ付訴願スヘキ限リニアラストノ理由ヲ以テ之ヲ却下シタルハ其當ヲ得ス然レトモ訴願人ニ於テ明治二十六年度ノ水利組合費賦課令狀ニ依レハ訴願人等ノ所有反別ニ對シ瀧ノ湯堰全水使用者ノ反別ト同様ノ負擔ヲ以テセルハ過重ノ義務ニシテ利益ノ厚薄ニ從ヒ義務ニ輕重アルヘキハ一般ノ道理ナルノミナラス現ニ同一組合ノ内北山村芹澤區其他ニ於テモ混同水使用ノ部分ハ當然負擔ノ義務ニ輕重差等ヲ附シアルニ獨リ金山區ニ限リ之等ノ區別ヲ立テサルハ失當ノ賦課タルヲ免レスト申立ツルモ本水利組合規約ニ依レハ其第

十五條ニ於テ組合費ヲ組合内ノ十六區ニ分賦スル定率ヲ規定シアリテ管理者カ明治二十六年度ノ組合費ヲ金山區ニ屬スル訴願人等ヘ賦課スルニ當リテハ既ニ右第十五條ニ規定アル金山區定率ノ割合ニ依リ之レヲ賦課シタルモノナリ而シテ右組合規約ハ水利組合條例ノ規定ニ依リ法定ノ手續ヲ以テ監督官廳ノ認可ヲ經テ確定シタルモノナレハ管理者ハ該規約ノ改正アラサル以上ハ之レニ規定アル課率ノ割合ニ依リ之ヲ賦課スヘキハ當然ナルヲ以テ獨リ訴願人等ヘ對シ失當ノ賦課ヲ爲シタリト云フヲ得ス
右ノ理由ナルヲ以テ諏訪郡參事會ノ裁決ハ之ヲ廢棄シ更ニ裁決スル左ノ如シ
訴願人ノ申立相立タス

○内務大臣裁決

明治二十八年
十月十日裁決

裁決要旨

一 水利組合規約ハ縣知事ノ認可ヲ得テ確定シタルモノナレハ規約ニ規定シタル事項ハ法定ノ手續ヲ經ルニアラサレハ之ヲ改正スルコトヲ得ズ

一 水利組合区域内ニ土地ヲ所有スル者ハ組合規約ニ規定シアル組合費ノ負擔歩合ニ依リ賦課金納付ノ義務アルモノトス

裁 決 書

長野縣諏訪郡湖東村

訴願人 保科仙右衛門

外二十三名

右訴願ハ長野縣諏訪郡瀧ノ湯堰普通水利組合費賦課ニ關シ湖東村金山區ニ對スル明治二十六年賦課額ハ負擔ノ義務過重ナルヲ以テ該組合管理者カ發シ

タル徵收令書ヲ取消シ更ニ公平ナル賦課ヲ爲スヘキ旨諏訪郡參事會ニ訴願シタルニ本訴願ハ賦課率變更ノ裁決ヲ請フモノニシテ賦課率ヲ變更スルハ組合規約ノ變更ヲ要求スルモノニ外ナラス而シテ組合規約ノ變更ニ就テハ訴願ヲ提起スルコトヲ得ストノ理由ヲ以テ却下セラレタルニ服セス長野縣參事會ヘ訴願シタルニ長野縣參事會ハ本水利組合規約中組合費分賦ノ定率ヲ規定シアル以上ハ管理者カ該課率ノ割合ニ依リ賦課シタルハ當然ナルヲ以テ獨リ訴願人等ヘ對シ失當ノ賦課ヲ爲シタリト謂フヲ得ストノ旨ヲ以テ訴願人等ノ申立相立タストノ裁決ヲ與ヘタルニ付更ニ本大臣ニ其不服ノ訴願ヲ提出シタルモノナリ

訴願人申立ノ要旨ハ當水利組合規約ニ規定シタル賦課率ニシテ不當ナル以上ハ該規約ノ規程ニ基キ管理者カ組合費ヲ賦課徵收シタル處分モ亦不當ナルヲ以テ該處分ヲ取消シ訴願人等ニ對スル瀧ノ湯堰普通水利組合費ノ賦課

率ヲ更正シ利益ヲ受クル割合ニ應シ之ヲ減少スヘシトノ裁決ヲ仰キ度ト云
フニ在リ

依テ水利組合條例第四十六條ニ依リ之ヲ受理シ審査スルニ當瀧ノ湯堰普通水
利組合規約ハ長野縣知事ノ認可ヲ得テ確定シタルモノナレハ該規約ニ規定シ
タル事項ハ法定ノ手續ヲ經タルニアラサレハ之ヲ改正スルコトヲ得サルモノ
トス而シテ右組合規約第十五條ニ本組合内十六區ニ對スル組合費ノ負擔歩合
ヲ規定シアル以上ハ十六區内ニ土地ヲ所有スル者ハ該負擔歩合ニ依リ賦課金
納付ノ義務ヲ有スルヲ以テ瀧ノ湯堰普通水利組合管理者カ明治二十六年度ノ
組合費ヲ組合規約ニ規定シアル負擔ノ歩合ニ依リ訴願人等へ賦課シタルハ失
當ノ賦課ヲ爲シタリト謂フヲ得ス從テ長野縣參事會ノ裁決モ亦不當ト認ムヘ
キ廉ナキモノトス
右ノ理由ニ依リ裁決スルコト左ノ如シ

明治二十八年四月十七日長野縣參事會ノ下シタル裁決ハ不當ナリト云フコト
ヲ得ス

(二)

水利組合費賦課ニ關スル件 明治二十八年四月十九日裁決

裁 決 要 旨

- 一 水利組合區域内ニアリテ用水ヲ使用スル以上ハ組合費ヲ負擔ス
ルノ責ナシト云フヲ得ス
- 一 新堰ヲ設ケ用水ヲ使用セスト云フ以後ニ於テモ尙ホ引續キ組合
費ヲ負擔シ且ツ用水路形狀ノ存在スルヲ以テ用水ヲ使用シ來リ
タルモノト認ムルヲ至當ナリトス

裁 決 書

長野縣諏訪郡北山村二百三十番地

平民農

訴願人 矢崎龜重

外三十三名

右訴願人訴願ノ要領ハ諏訪郡瀧ノ湯堰普通水利組合費明治二十六年度ノ賦課ニ關シ同郡北山村ノ内字下久保田田反別八町六反九畝一步ノ地所ハ本水利組合ニ於テ議決ノ費用ヲ負擔スヘキ責ナシトノ裁決ヲ求ムルニ在リテ其理由トスル所ノ要旨ハ往昔ニ在リテハ本訴願ニ係ル八町六反九畝一步ニ灌溉スル用水ハ瀧ノ湯堰分水閘ヨリ仰キ來リタル所明治二十二年澁川ニ新埒ヲ設ケ專ラ該埒ノ水ヲ使用スルニトナリタル爲メ曾テ引來リタル水路ハ之ヲ廢棄シ瀧ノ湯堰ノ用水ハ現今使用セサル所ナリ然ルニ郡參事會ハ其堰筋ノ存在スルニ依レハ兩埒ノ水ヲ併用スルモノナリト裁決シタレトモ其埒路ハ距今五六年前ニ廢棄シタルモノニシテ僅カニ其形ノ存スルヲ以テ今日尙之レカ用水ヲ使用

スルモノト速斷シタルハ不當ナリ要スルニ不使用ノ用水ニ關スル費用ヲ負擔スルノ責ナキヲ以テ郡參事會ノ裁決ヲ取消シ更ニ至當ノ裁決ヲ請フト云フニ在リ

依テ本縣參事會ハ水利組合條例第四十六條ニ依リ之ヲ受理シ審査スル左ノ如シ

訴願人ハ本訴願ニ係ル田地ノ用水ハ從前瀧ノ湯堰ヨリ仰キ來リタル處明治二十二年澁川ヨリ新堰ヲ設ケ專ラ該新堰ノ水ヲ用ヒ舊來ノ水路ハ之ヲ廢棄シ瀧ノ湯堰ノ用水ハ現今使用セサル所ナレハ不使用ノ用水ニ關スル費用ヲ負擔スルノ責ナシト云フト雖モ元來字下久保田ノ田地ハ總テ瀧ノ湯堰ヨリ分水スル久保田用水ヲ以テ灌溉シ來リタルモノニシテ其用水堰路ハ現ニ訴願ニ係ル八町六反九畝一步ノ田地内ニ跨リ其形狀ノ存在セルコトハ訴願人ニ於テモ異議ナク而シテ明治二十五年瀧ノ湯堰諸入費割賦元帳ニ依レハ訴願人ハ明治二十

二年澁川ヨリ新堰ヲ設ケタル爲メ本堰ノ用水ヲ使用セスト申立ツル以後ニ於テモ尙明治二十五年迄引續キ現ニ本堰ノ用水費ヲ負擔シ來レリ之ヲ新堰設置以前ノ諸入費割賦元帳ニ對照スルニ其間負擔ノ割合ニ毫モ變ル所アルコトナシ既ニ新堰ヲ設ケタル以後ニ於テモ尙引續キ之レカ費用ヲ負擔シ且用水路形狀ノ存在スル以上ハ現ニ本用水ヲ使用シ來リタルモノト認メサルヲ得スシテ新堰ヲ設ケタル爲メ瀧ノ湯堰ノ用水ハ之ヲ使用セストノ申立ハ採用スルヲ得ス從テ之カ費用ヲ負擔スルノ責ナシト云フヲ得ス

右ノ理由ナルヲ以テ裁決スル左ノ如シ

訴願人ノ申立相立タス

○内務大臣裁決

明治二十八年十月十四日裁決

裁決要旨

一 水利組合規約ニ於テ組合區域内ニ屬スル者ニ對スル組合費ノ負擔歩合ヲ規定シアル以上ハ該組合區域内ニ土地ヲ所有スル者ハ右規定ニ負擔歩合ニ依リ組合費賦課納付ノ義務アルモノニシテ現ニ用水ヲ使用セサルヲ理由トシ費用負擔ヲ責テ免ル、コトヲ得ス

(參照) 本組合ノ區域ヲ定ムルコト左ノ如シ北山村ノ内湯川瀧ノ湯堰普通水利組合規約第二條

裁決書

長野縣諏訪郡北山村

訴願人 矢崎龜重

外三十三名

右訴願ハ長野縣諏訪郡北山村湯川字下久保田ニ在ル八町六反九畝一步ノ田地

ハ瀧ノ湯堰ノ利益ヲ受クルモノニアラサレハ瀧ノ湯堰普通水利組合費ヲ負擔スヘキモノニアラストシ郡參事會及縣參事會ニ訴願ヲ提起セシニ何レモ費用負擔ノ義務アルモノナリトノ裁決ヲ與ヘタルニ付更ニ本大臣ニ其不服ノ訴願ヲ提出シタルモノナリ

訴願人申立ノ要旨ハ本訴願ニ係ル八町六反九畝一步ノ田地ハ從前ニ在テハ久保田本堰ヨリ灌溉シタルモ其後用水ニ不足ヲ生シタルカ爲メ瀧ノ湯堰ヨリ分水シ來リタルニ明治二十二年瀧ノ湯堰揚口灌漑訴訟ノ結果ニ依リ瀧ノ湯幹川全部芝漧トナリ從テ久保田堰ノ水量八九分ヲ減シタルニ付同二十二年五月中澁川ヨリ新堰ヲ開鑿シ專ラ該堰ノ水ヲ使用スルコト、ナリタルカ爲メ瀧ノ湯堰ノ用水ハ現今使用シ居ルモノニ無之即チ瀧ノ湯堰ノ利益ヲ受クサル土地ナレハ決シテ組合費ヲ負擔スヘキ責ナキニ付長野縣參事會ノ裁決ヲ取消シ當水利組合ニ於テ賦課シタル費用ハ負擔スヘキ責ナシトノ裁決

ヲ仰キ度ト云フニ在リ

依テ水利組合條例第四十六條ニ依リ之ヲ受理シ審査スルニ當瀧ノ湯堰普通水利組合規約第二條ノ規程ニ依レハ北山村ノ内湯川ハ本組合區域内タルコトハ明瞭ナリトス而シテ右規約第十五條ニ本組合内十六區ニ對スル組合費ノ負擔歩合ヲ規定シアル以上ハ十六區内ニ土地ヲ所有スル者ハ該負擔歩合ニ依リ賦課金納付ノ義務ヲ有スルヲ以テ現ニ用水ヲ使用セサルヲ理由トシ費用負擔ノ責ヲ免ル、コトヲ得サルモノトス從テ長野縣參事會ノ裁決モ亦不當ト認ムヘキ廉ナキモノトス

右ノ理由ニ依リ裁決スルコト左ノ如シ

明治二十八年四月十九日長野縣參事會ノ下シタル裁決ハ取消スヘキ限ニ在ラ

ス

長野縣參事會裁決類纂畢

○附 錄

明治二十八年中長野縣參事會ニ於テ訴願事件ニ對シ裁決ヲ爲シタル成績
左ノ如シ

一 二十八年中收受シタル訴願事件ハ二十七年ヨリ繰越シタルモノ六件本年新
ニ收受シタルモノ二十六件合計三十二件其内裁決濟ノモノ二十二件内訴願
人ヨリ取下ヲ爲シタルモノ一件ニシテ殘餘ノ十件ハ即チ審査中ニ屬スルモ
ノト知ル可シ其類別詳細ハ第一表ニ掲クルカ如シ而シテ本年ハ町村會議員
ノ半數改選期ニ當リタルヲ以テ新タニ收受シタル件數頗ル多ク之ヲ前年ニ
比スルニ殆ソト三倍ノ多キニ上レリ今其收受シタル訴願ノ件數ヲ各郡ニ區
別スルニ東筑摩郡最多ク小縣南安曇諏訪ノ三郡之ニ次キ上伊那西筑摩上下
高井ノ四郡ハ何レモ皆無トス其類別詳細ハ之ヲ第二表ニ掲ク

一 右縣參事會ニ於テ裁決シタル事件中之レニ服セスシテ行政裁判所ニ出訴シ

タルモノ六件内務大臣ニ訴願シタルモノ二件ニシテ總計八件トス而シテ已ニ判決若クハ裁決ヲ受クタルモノニシテ縣參事會ノ裁決ヲ取消サレタルモノ絶テ之ナク法律上ノ解釋ニ關シ孰レモ其正鵠ヲ失ハサリシハ最モ満足ニ堪ヘサル所ナリ其類別詳細ハ之ヲ第三表ニ掲ク

第一表

明治二十八年長野縣參事會裁決一覽表

類別	件數		訴願件數		裁決件數		本年末殘件數
	前年末殘件數	本年新受件數	計	裁願立タサルモノ	却下取下	計	
郡會議員選舉ノ効力ニ關スル件	一	一	一	一	一	一	一
町村境界ニ關スル件	三	一	四	一	一	三	一
町村會議員選舉投票ノ効力ニ關スル件	一	一	一	一	一	一	一
公民權ノ有無ニ關スル件	一	一	一	一	一	一	一
町村會議員選舉人名簿ニ關スル件	一	六	六	一	一	六	一
町村會議員選舉ノ効力ニ關スル件	一	一	二	一	一	七	五
町村會並ニ區會議決ニ關スル件	一	三	三	一	一	一	二
町村稅賦課ニ關スル件	一	一	一	一	一	一	一
學校組合會議員選舉ノ効力ニ關スル件	一	一	一	一	一	一	一
水利組合費ニ關スル件	二	一	二	二	一	二	一
合計	六	二六	三二	五	一三	三	一〇

官報

内閣官報局御編纂

法令全書

一ヶ月定價及郵税共五拾錢
東京府下購客ニ限リ取次販賣ス

●既刊ノ分定價表御申越次第送呈ス
毎月一回發刊定價凡拾錢郵税凡四錢

本書ハ維新以來發布ニ係ル法令ヲ纂輯セシモノニシテ索引モ亦完備シテ
リ「將來發刊ニ係ル分講讀者ハ一ヶ月分定價郵税共概算金拾四錢ノ割合ニ
テ御送金相成置候ハ」發刊ノ都度送本致シ該金ノ盡クルニ至レバ精算ノ
上殘金ハ御還付可致候

內閣官報局御編纂

職員錄

明治廿八年十一月十日現在

甲號(內閣各省院ノ部) 定價金貳拾錢郵稅拾錢

乙號(地方廳ノ部) 定價金貳拾錢郵稅八錢

本書ハ行政司法陸海軍等各官廳ノ職員ヲ掲載セラレタル最新ノ職員錄ナリ御送金次第直子ニ發送ス(毎年一回十二月發刊)

右ハ從來內閣官報局ノ御命令ヲ奉シ取次販賣罷在尙一層購客ノ御便利ヲ計リ確實ト迅速トヲ以テ取扱候間續々御申込ヲ乞フ

東京市京橋區銀座一丁目廿二番地(電話貳七參番)

發賣所

大日本圖書株式會社

明治二十九年三月十一日印刷

明治二十九年三月十四日發行

長野縣參事會判決

定價金拾五錢

編纂者

法學士 永井環

東京市京橋區銀座一丁目二十二番地

大日本圖書株式會社

發行兼印刷者

右代表者

專務取締役 佐久間貞

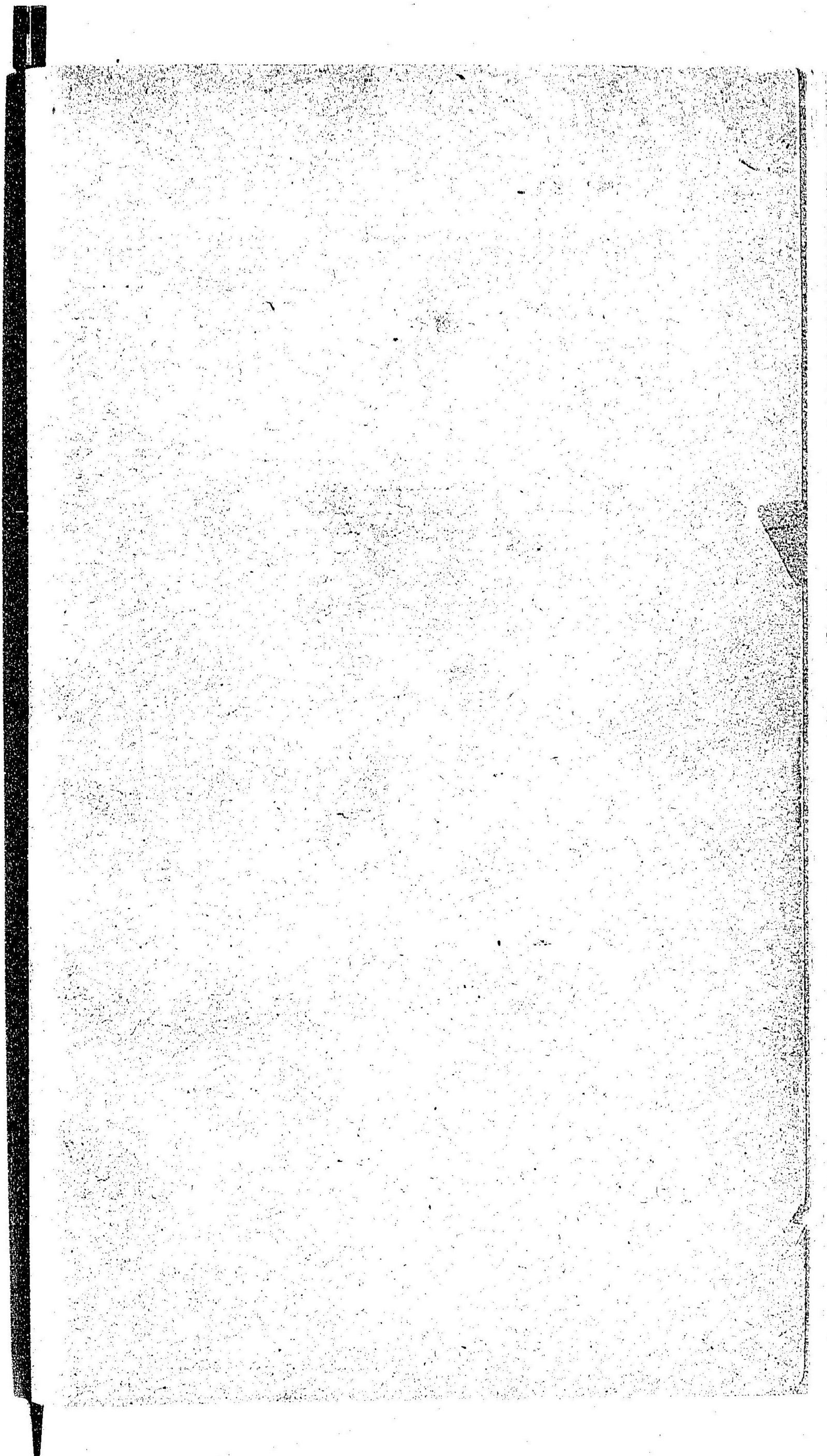


發賣元

東京市京橋區銀座一丁目二十二番地

大日本圖書株式會社

所 賣 長野縣長野町 松葉軒 西澤喜太郎 長野縣飯田傳馬町 文星堂 皆川半四郎
同 縣松本町 水琴堂 小松爲吉 同 縣小諸町 廣文堂 小山左傳次



149
733

長野県参事会裁決類纂

東京

大日本圖書株式会社

036581-001-9

CZ-3311-55-01

長野県参事会裁決類纂

永井 環/編

M29

BBR-0751

